



概要 2020

国立大学法人

富山大学

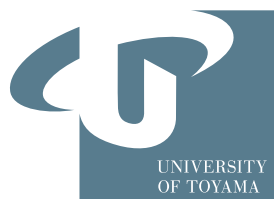
University of Toyama



Contents

学章	1	役職員数	24
学長挨拶	2	学部学生の地域別入学状況	25
トピックス	3	学科・専攻・取得できる学位	25
理念と目標	5	学生の定員・現員	27
沿革	5	外国人留学生数	29
組織図	7	卒業・修了者の進路状況	30
事務組織	8	大学教育再生戦略推進費等採択状況	32
役職員	9	寄附講座・寄附研究部門	33
学部・教養教育院・大学院	11	共同研究講座	33
和漢医薬学総合研究所	15	附属病院診療実績	34
附属病院	16	国際交流	35
附属図書館	17	自治体等との連携協力に関する協定	39
教育・学生支援機構	18	公開講座等の実績	40
研究推進機構	19	財務状況	41
地域連携推進機構	20	科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況	43
国際機構	21	学生の厚生施設	44
国際交流会館	21	土地・建物、部局等所在地	45
学内共同教育研究施設	22	キャンパス図	47
保健管理センター	22	位置図	50
学部附属教育研究施設	23		
附属学校	23		

学章(シンボルマーク)



アルファベットの「T」と「U」をモチーフにしたデザインは、富山大学が天空・世界を飛翔するイメージを表しています。大きな楕円は国際社会を、小さい楕円は地域を表し、一体となって発展することを表現しているシンボルマークです。

マークの土台となる四角は伝統性を示しており、シンボルマークが三次元的でダイナミックに構成されることにより、創造性の豊かさを表現しています。

メインカラーのパール感を持った知的な印象のブルーグレーは個性的な色で、富山の豊かな自然の雪や水をもイメージできます。自然や人々の調和の中から生まれる独自の創造性を生かし、活躍する学生を育てていく世界レベルの大学を表現しています。

地域・世界で活躍する「人」の力を育む富山大学を目指す。

学長 齋藤 滋



富山大学は、1875年の開学（新川県師範学校発足）以来、145年の歴史と伝統を持つ全国有数の総合国立大学です。2005年、当時の富山県内3つの国立大学が再編統合し、新しい富山大学が誕生しました。現在、9学部（人文・人間発達科学・経済・理・工・医・薬・芸術文化、都市デザイン）に附属病院、和漢医薬学総合研究所を加えた11の教育・研究施設に、9,000名余の学生と2,200名余の教職員が学び、活躍しています。今後、総合大学の強みを活かし、学部横断的な教育・研究・社会貢献を実践することにより、学生、教職員、地域の皆様にとって「魅力溢れるおもしろい大学」をつくっていく所存です。

我が国は今、超スマート社会Society5.0を目指し、情報をいかに系統的に活用し、社会に役立てるかを考える時代に入っています。このような時代の変化に対応し、富山大学では2020年度以降に入学する全ての学部学生に対して、数理・データサイエンス教育を必修化するとともに「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を開設しました。2020年度から文部科学省「大学における数理・データサイエンス教育の全国展開」の協力校にも指定され、プログラム修了生には修了証を授与しますので、就職活動や就職後の業務に役立てる事ができます。また、学生、教員同士のネットワークをこれまで以上に強化し、地域とのネットワーク、さらに海外とのネットワークを充実させることで、Society5.0時代に活躍できる人材を育成したいと考えています。

本学が立地する富山県は、素晴らしい自然環境や農林水産資源、伝統ある歴史・文化、卓越した産業活動力など、豊かさと幸せを強く感じることのできる場所です。富山大学はこれからも、富山県における地域活性化の中核的拠点としての役割を担いながら、時代の課題に応える先端的研究を推進し、新しい業績や情報を社会に発信する役割を果たして参ります。学内外関係者の皆様にも、引き続きご指導ご支援頂けますようお願い致します。

大学改革 新センター設立、新組織への改組

2020年4月、本学が強みを持つ分野の研究基盤を強化するため、未病研究センター、アイドリング脳科学研究センター、先進アルミニウム国際研究センター、芸術文化学部附属技藝院（文化財保存・新造形技術研究センター）を新設しました。世界トップレベルの研究拠点を構築し、産官と連携しながら新時代を支えるイノベーションの創出を目指します。

また、和漢医薬学総合研究所は、東西医薬学の融合を基盤とした次世代型医療科学の創生拠点を狙った新組織に、男女共同参画推進室は、本学の男女共同参画及びダイバーシティをさらに推進し、より多様な人材が活躍できる環境を整備するためにダイバーシティ推進センターへと改組しました。



研究 東京大学宇宙線研究所との重力波研究推進のための覚書を締結

富山大学と東京大学宇宙線研究所は令和2年4月6日(月)、大型低温重力波望遠鏡(KAGRA)の本格運転及び観測が始まるにあたり、緊密な連携を行うため新たな覚書を締結しました。富山大学ではこれまで、大学院理工学教育部、理学部、工学部および大学院理工学研究部が、宇宙線研究所と「重力波研究推進のための教育・研究協力に関する覚書(平成27年2月9日締結)」を結んで活動してきましたが、新たな覚書はこれを富山大学の全学的な連携へと発展的に拡大させるものです。

覚書に基づき、東京大学宇宙線研究所は今後、KAGRAホスト機関及びKAGRA共同利用研究者の代表として、富山大学に対し、重力波に関連した教育上及び研究・開発上の支援を行い、富山大学はKAGRAの地域の研究拠点として、東京大学宇宙線研究所及びKAGRA共同利用研究者に対し、共同研究・開発を行うため重力波研究実験室の利用等研究・開発環境の支援を行うこととなります。



教育 数理・データサイエンス教育を必修化

富山大学は、令和2年度以降に入学する全ての学部学生に対して数理・データサイエンス教育を必修化するとともに、関連する授業科目を体系化した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を開設しました。これにより、文理を問わず全ての富山大学生に、それぞれの専門分野に応じた実践的な数理・データサイエンス能力を身につける環境を提供し、その利活用により、社会で新たな価値を創造できる人材育成のための教育体制を整えます。

本学は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」事業の協力校に選定され、令和2年度より2年間、本学が事業を総括し、金沢大学及び福井大学と連携しながら、ノウハウの共有や授業科目の提供(単位互換)等を行い、北陸地区の高等教育機関への普及を図ります。



「TOYAMA採用イノベーションスクール」の取組みが評価

本学では、学生の地元定着に向けた企業側の採用に対する意識改革を図るため、地元金融機関の協力を得ながら、富山県との共催により「採用イノベーションスクール」を開催しています。本取組は、県内企業の経営者や人事担当者が企業の採用活動を研究し、自社の強み・魅力を学生に伝えるための工夫や新たな採用方法・インターンシップの在り方を模索・実施することを目的としています。

学生の採用等に関して、学生ではなく企業にアプローチをする全国でも類を見ない取組です。中小企業庁による「2019年版中小企業白書」において、優良事例として取り上げられ、大学が関連する取組として取り上げられた事例は本学のみでした。これらの取組が評価され、日本経済新聞に掲載の「人事が見る大学イメージランキング」北陸3県で総合ランキング1位(全国で20位)、人事担当者が採用を増やしたい大学部門全国2位となりました。



日本とノルウェーの大学・研究機関・企業による合同プロジェクト

2019年5月13日(月)、アルミニウム合金の分野における教育・研究共同プロジェクトに関する合意書の署名式が東京の駐日ノルウェー王国大使館で行われました。

本プロジェクトは、両国の大学・研究機関と企業が協力し、教育-研究-ビジネス(ナレッジトライアングル)の連携を推進することを目的とし、2016～2017年に実施されたプロジェクトをさらに発展させた取り組みで、ノルウェーリサーチカウンシル(Research Council of Norway)の支援の下実施されています。

プロジェクトメンバーには、日本側代表である本学の学術研究部都市デザイン学系及びプロジェクトリーダーを務めるノルウェー科学技術大学(NTNU)のほか、東京工業大学、九州大学、SINTEF、Hydro Aluminium、日本アルミニウム協会、富山県アルミ産業協会が参加しています。



形成再建外科・美容外科を開設、乳がん先端治療・乳房再建センターを設立

2020年1月から富山大学附属病院は、形成再建外科・美容外科を開設し、乳がん治療の一つである再建術を自施設で行うことができるようになりました。乳がんが疑われたときの診断、手術を中心とした初期治療、放射線照射による補助療法、再発時の化学療法や遺伝子診療、緩和ケア、これらすべてを協力して行える体制を整えるため、2020年2月より乳がん先端治療・乳房再建センターを設立しました。

センターには乳腺科・内分泌外科をはじめ、形成再建外科・美容外科、遺伝子診療部門、がんゲノム・集学的がん診療部門、放射線診断および治療部門、病理部門など複数の専門家チームが参加しております。これにより、大学病院としてのメリットを最大限に活用し、各専門部門が密接に連携した、チーム医療として治療体制を提供できるようになりました。



富山大学の理念と目標

理念

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与する。

目標

I 教育 — 高い使命感と創造力のある人材の育成 —

富山大学は、学生の個性を尊重しつつ人格を陶冶するとともに、広い知識と深い専門的学識を教授することにより、「高い使命感と創造力のある人材を育成する総合大学」を目指す。

1. 学生の主体的な学びを促し、多様な学習ニーズに応え、教育の質を保証するために、教育環境の充実と教育システムの改善を図り、教員の教授能力のたゆまぬ向上に努める。
2. 学士課程では、教養教育と専門教育を充実し、新しい知識・情報・技術が重要性を増すグローバルな知識基盤社会に貢献できる、豊かな人間性と創造的問題解決能力を持つ人材を育成する。
3. 大学院課程では、体系的で高度な専門教育を充実し、21世紀の多様な課題に果敢に挑戦し解決できる人材を育成する。

II 研究 — 地域と世界に向けて先端的研究情報の発信 —

富山大学は、学問の継承発展と基礎的な研究を重視するとともに、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、融合領域の研究を推進することにより、「地域と世界に向けて先端的研究情報を発信する総合大学」を目指す。

1. 真理を追究する基礎研究を尊び、学問の継承発展に努めるとともに、応用的な研究を推進する。
2. 先端的な研究環境を整備し、世界的な教育研究の拠点を構築する。
3. 世界水準のプロジェクト研究を推進するとともに、自由な発想に基づく萌芽的な研究を積極的に発掘し、その展開を支援する。
4. 地域の特徴を活かした研究を推進し、その成果を地域社会と国際社会の発展に還元する。

III 社会貢献 — 地域と国際社会への貢献 —

富山大学は、多様な分野からなる総合大学のスケールメリットを活かして、地域社会が抱える多様な問題及び地域を越えたグローバルな課題に取り組むことにより、「地域と国際社会に貢献する総合大学」を目指す。

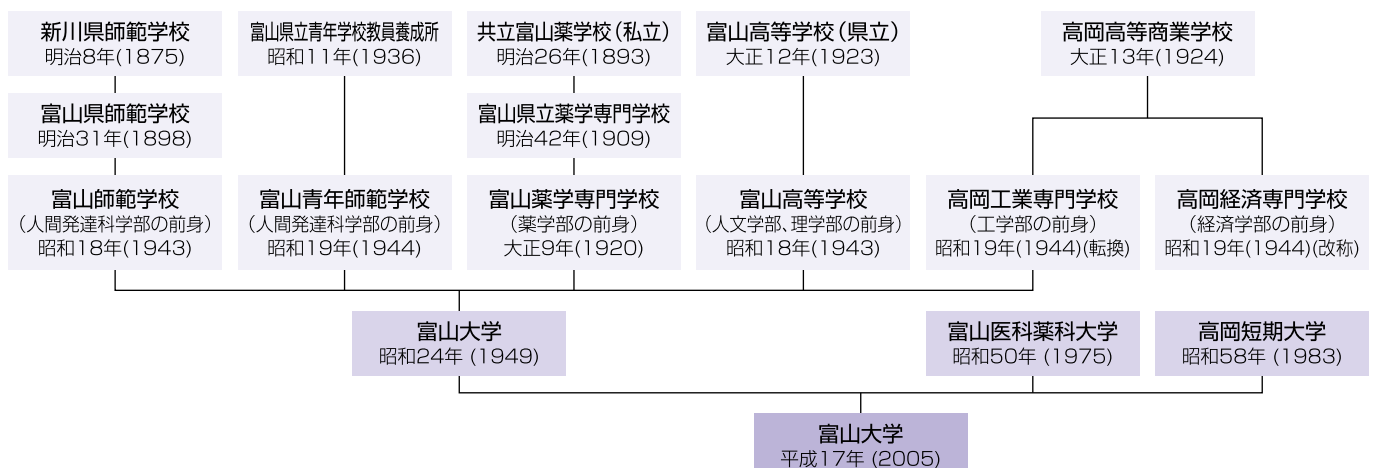
1. 地域社会の教育と文化の発展に寄与するとともに、地域再生への先導的役割を果たす。
2. 産業集積地帯である地域の特性を活かし、産学官連携を通じて地域産業の活性化を促進する。
3. 地域の中核的医療機関としての大学附属病院は、専門性と総合性を合わせ持つ質の高い医療を提供するとともに、将来の地域医療における質の高度化の牽引役を担う。
4. 大学間交流や国際貢献を推進するとともに、現代社会の重要課題に取り組む。

IV 運営 — 透明性の高い大学運営 —

富山大学は、教育、研究、社会貢献を積極的に推進するため、「大学運営において高い透明性を持つ、社会に開かれた総合大学」を目指す。

1. 国民から負託された国立大学法人であるとの明確な認識のもとに、透明性の高い効率的な大学運営を行い、社会に対する説明責任を果たす。
2. 組織と構成員は自己点検と自己評価に努め、時代や社会の要請に対応して、改革と改善を果敢に推進する。
3. 学内外の意見と評価を大学運営に反映し、大学の人材、資金、設備等の資源を最も有効に活用する。
4. 個人情報の保護に努め、情報公開や環境問題に積極的に取り組むとともに、構成員全てが持てる力を十分に発揮できる職場環境を構築する。

沿革



再編・統合前

富山大学	
昭和24年(1949)	国立学校設置法により富山大学発足(文理学部、教育学部、薬学部、工学部)
昭和28年(1953)	経済学部設置(文理学部より独立)
昭和34年(1959)	経営短期大学部併設
昭和38年(1963)	大学院薬学研究科設置
昭和40年(1965)	放射性同位元素総合実験室設置
昭和42年(1967)	大学院工学研究科設置 教養部設置(文理学部を改組)
昭和49年(1974)	和漢薬研究所設置
昭和50年(1975)	保健管理センター設置
昭和52年(1977)	人文学部、理学部設置(文理学部を改組)
昭和53年(1978)	大学院理学研究科設置
昭和56年(1981)	自然観察実習センター設置
昭和61年(1986)	大学院人文科学研究科設置
昭和62年(1987)	地域共同研究センター設置
平成2年(1990)	経営短期大学部廃止
平成3年(1991)	大学院経済学研究科設置
平成5年(1993)	教養部廃止
平成6年(1994)	大学院教育学研究科設置
平成8年(1996)	生涯学習教育研究センター設置
平成10年(1998)	大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称(大学院理学研究科を廃止)
平成11年(1999)	留学生センター設置 水素同位体科学研究センター設置 水質保全センター設置
平成12年(2000)	機器分析センター設置
平成13年(2001)	極東地域研究センター設置 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
平成15年(2003)	総合情報基盤センター設置 極低温量子科学研究センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

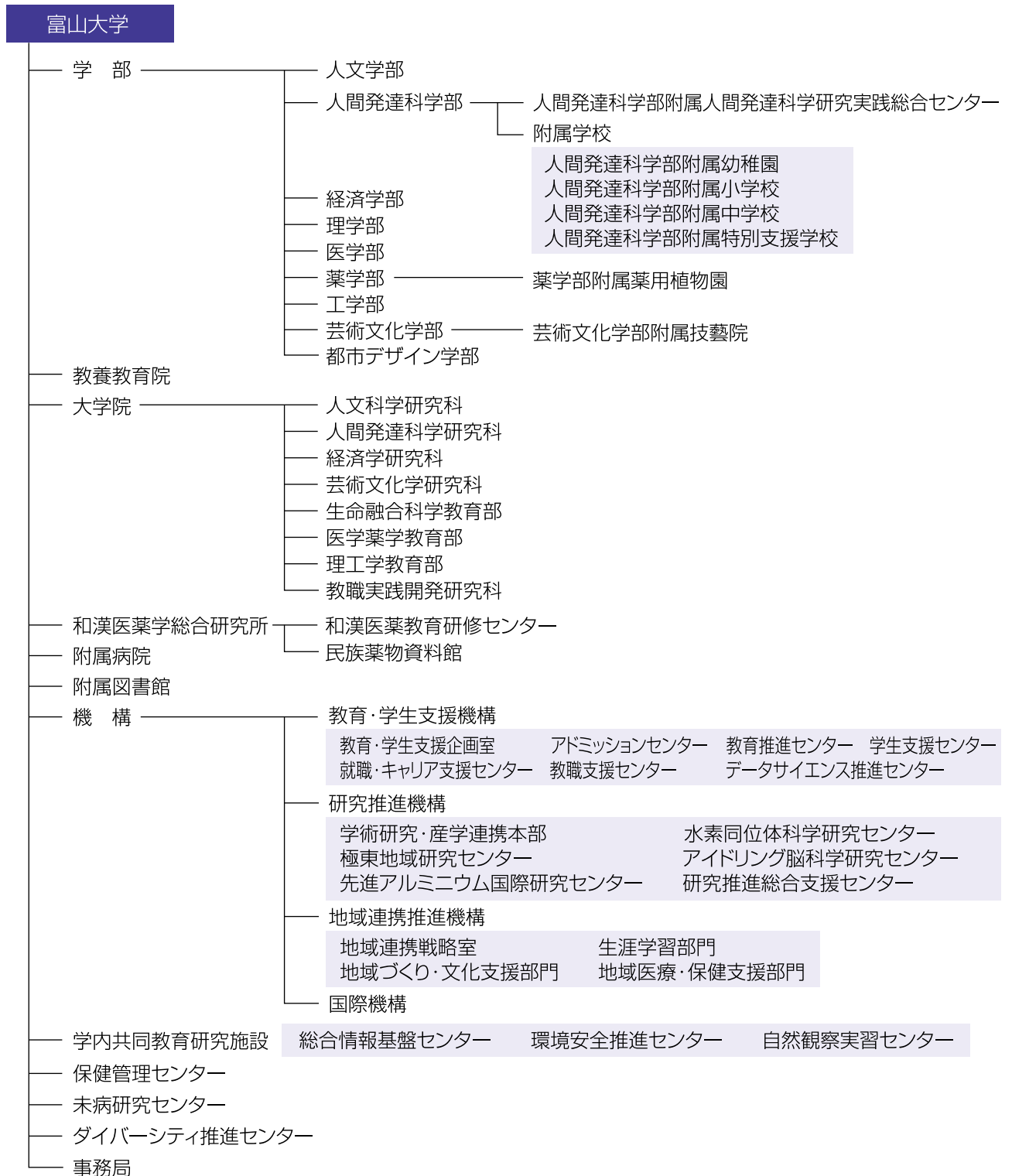
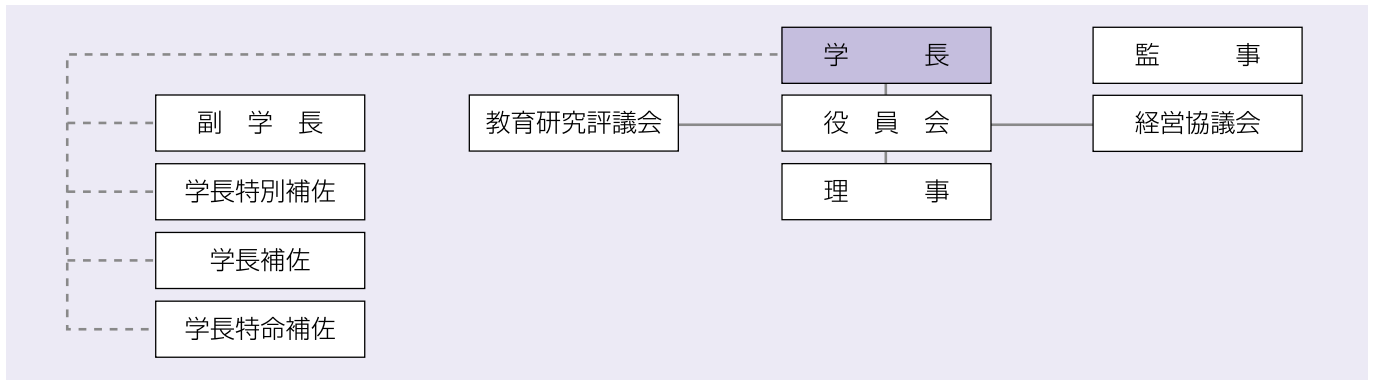
富山医科薬科大学	
昭和50年(1975)	富山医科薬科大学開学 医学部設置
昭和51年(1976)	薬学部設置(富山大学より移行)
昭和53年(1978)	和漢薬研究所設置(富山大学より移行)、 大学院薬学研究科設置、放射性同位元素実験施設設置
昭和54年(1979)	附属病院設置
昭和56年(1981)	動物実験センター設置
昭和57年(1982)	大学院医学研究科設置
昭和58年(1983)	保健管理センター設置
昭和59年(1984)	実験実習機器センター設置
平成7年(1995)	遺伝子実験施設設置
平成9年(1997)	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
平成14年(2002)	生命科学実験センター設置 (動物実験センター、遺伝子実験施設及び放射性同位元素実験施設を改組)
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる
平成17年(2005)	生命科学先端研究センター設置 (生命科学実験センター及び実験実習機器センターを改組)

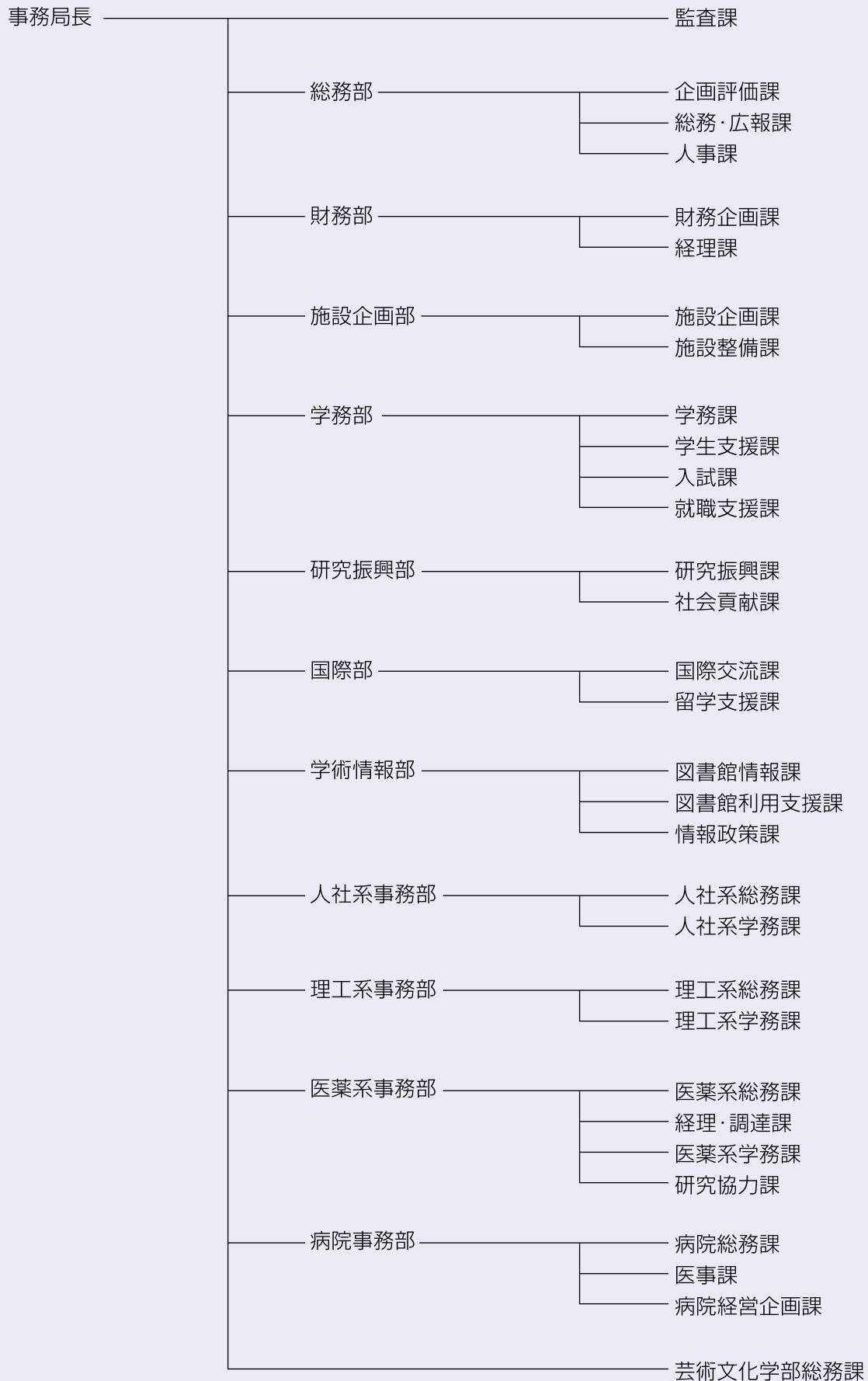
高岡短期大学	
昭和58年(1983)	高岡短期大学開学(産業工芸学科、産業情報学科)
昭和61年(1986)	短期大学開放センター設置
昭和63年(1988)	専攻科地域産業専攻(1年制、1専攻)設置
平成7年(1995)	専攻科を2年制、3専攻に再編改組
平成12年(2000)	学科を産業造形学科、産業デザイン学科、 地域ビジネス学科の3学科に再編改組
平成13年(2001)	保健管理センター設置
平成16年(2004)	国立大学法人法の規定により国立大学法人となる

再編・統合後

富山大学	
	富山大学、富山医科薬科大学及び高岡短期大学を再編・統合し、富山大学となる
平成17年(2005)	芸術文化学部設置 人間発達科学部設置(教育学部を改組) 和漢医薬学総合研究所設置(和漢薬研究所を改組) 学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、地域医療支援センター、地域づくり・文化支援センター設置
平成18年(2006)	大学院生命融合科学教育部、大学院医学薬学教育部、大学院理工学教育部設置(大学院医学系研究科、大学院薬学研究科、大学院理工学研究科を統合・改組)
平成19年(2007)	知的財産本部設置
平成20年(2008)	地域連携推進機構設置 (地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、地域医療支援センター、地域づくり・文化支援センター、知的財産本部を統合・改組)
平成21年(2009)	臨床倫理センター設置
平成22年(2010)	高岡短期大学部廃止 自然科学研究支援センター設置(機器分析センター、放射性同位元素総合実験室、極低温量子科学研究センターを統合・改組) 大学教育支援センター設置
平成23年(2011)	大学院芸術文化学研究科設置 大学院人間発達科学研究科設置(大学院教育学研究科を改組)
平成24年(2012)	臨床倫理センターを臨床研究・倫理センターに改称
平成25年(2013)	国際交流センター設置(留学生センターを改組)
平成26年(2014)	環境安全推進センター設置(水質保全センターを改組)
平成27年(2015)	教育・学生支援機構設置(学生支援センター、キャリアサポートセンター、アドミッションセンター、大学教育支援センターを改組) 研究推進機構設置(水素同位体科学研究センター、自然科学研究支援センター、極東地域研究センター、生命科学先端研究センターを改組)
平成28年(2016)	教養教育院設置 大学院教職実践開発研究科設置 附属病院臨床研究管理センター設置(附属病院臨床研究推進センター、臨床研究・倫理センターを統合・改組)
平成30年(2018)	都市デザイン学部設置、国際機構設置(国際交流センターを改組)
令和元年(2019)	教員組織と教育組織分離の全学的実施 大学の数理及びデータサイエンスの全国展開事業(協力校)採択
令和2年(2020)	芸術文化学部附属技藝院(文化財保存・新造形技術研究センター)設置 データサイエンス推進センター設置 アイドリング脳科学研究センター設置 先進アルミニウム国際研究センター設置 未病研究センター設置 ダイバーシティ推進センター設置

組織図





役員

役員

学長	齋藤 滋
理事・副学長	井上 将彦
理事・副学長	北島 勲
理事・副学長	池田 真行
理事・副学長	磯部 祐子
理事・副学長	武山 良三
理事・事務局長	下敷 領強
理事(非常勤)	高木 繁雄
監事	長津 輝彦
監事(非常勤)	宮林 紀子

副学長・学長補佐

副学長	林 篤志
副学長	中村 和之
副学長	中川 大
副学長	細谷 健一
学長特別補佐(非常勤)	水野 正明
学長補佐	鳥海 清司
学長補佐	関根 道和
学長補佐	豊岡 尚樹
学長補佐(非常勤)	門脇 真
学長特命補佐(非常勤)	高津 聖志
学長特命補佐(非常勤)	村上 哲

経営協議会

学長	齋藤 滋
理事・副学長	井上 将彦
理事・副学長	北島 勲
理事・副学長	磯部 祐子
理事・副学長	武山 良三
理事・事務局長	下敷 領強
附属病院長	林 篤志
富山県立大学名誉教授	石塚 勝
救急薬品工業(株) 代表取締役社長	稲田 裕彦
玉川大学芸術学部元教授	大西 珠枝

(株)北日本新聞社顧問	河合 隆
北陸電力(株)代表取締役会長 北陸経済連合会会長	久和 進
富山県教育長	伍嶋 二美男
金沢大学名誉教授	林 勇二郎
富山県副知事	山崎 康至

教育研究評議会

学長	齋藤 滋
理事・副学長	井上 将彦
理事・副学長	北島 勲
理事・副学長	池田 真行
理事・副学長	磯部 祐子
理事・副学長	武山 良三
理事・事務局長	下敷 領強
理事(非常勤)	高木 繁雄
副学長・附属病院長	林 篤志
副学長	中村 和之
副学長	中川 大
副学長	細谷 健一
大学院生命融合科学教育部長	西条 寿夫
大学院医学薬学教育部長・医学部長・医学系長	足立 雄一
大学院理工学教育部長・理学部長・理学系長	若杉 達也
大学院教職実践開発研究科長	成瀬 喜則
人文学部長・人文科学系長	黒田 廉

人間発達科学部長・教育学系長	大川 信行
経済学部長・社会科学系長	森岡 裕
薬学部長・薬学・和漢系長	酒井 秀紀
工学部長・工学系長	會澤 宣一
芸術文化学部長・芸術文化学系長	長柄 毅一
都市デザイン学部長・都市デザイン学系長	渡邊 了
和漢医薬学総合研究所長	小松 かつ子
人文科学系	大西 宏治
教育学系	徳橋 曜
社会科学系	橋口 賢一
理学系	菊池 万里

医学系	笹原 正清
薬学・和漢系	水口 峰之
工学系	磯部 正治
芸術文化学系	山田 眞一
都市デザイン学系	松田 健二
教養教育学系	谷井 一郎
薬学・和漢系	早川 芳弘
教育研究推進系	松井 祥子
附属病院	戸邊 一之

学部

人文学部

人文学部長	黒田 廉
-------	------

人間発達科学部

人間発達科学部長	大川 信行
附属人間発達科学研究実践総合センター長	笹田 茂樹
附属幼稚園長	黒田 卓
附属小学校長	片岡 弘
附属中学校長	内藤 亮一
附属特別支援学校長	佐藤 徳

経済学部

経済学部長	森岡 裕
-------	------

理学部

理学部長	若杉 達也
------	-------

医学部

医学部長	足立 雄一
------	-------

薬学部

薬学部長	酒井 秀紀
附属薬用植物園長	田浦 太志

工学部

工学部長	會澤 宣一
------	-------

芸術文化学部

芸術文化学部長 長柄毅一

附属技藝院長
(文化財保存・新造形技術研究センター) 林 曉**都市デザイン学部**

都市デザイン学部長 渡邊了

教養教育院

教養教育院長 武山良三

大学院**人文科学研究科**

人文科学研究科長 黒田 廉

人間発達科学研究科

人間発達科学研究科長 大川 信行

経済学研究科

経済学研究科長 森岡 裕

芸術文化学研究科

芸術文化学研究科長 長柄毅一

生命融合科学教育部

生命融合科学教育部長 西条寿夫

医学薬学教育部

医学薬学教育部長 足立雄一

理工学教育部

理工学教育部長 若杉達也

教職実践開発研究科

教職実践開発研究科長 成瀬喜則

和漢医薬学総合研究所

和漢医薬学総合研究所長 小松 かつ子

附属和漢医薬教育研修センター長 柴原直利

附属病院

附属病院長 林 篤志

附属図書館

附属図書館長 細谷健一

機 構**教育・学生支援機構**

教育・学生支援機構長 磯部 祐子

教育・学生支援企画室長 磯部 祐子

アドミッションセンター長 磯部 祐子

教育推進センター長 磯部 祐子

学生支援センター長 中村 和之

就職・キャリア支援センター長 中村 和之

教職支援センター長 鳥海 清司

データサイエンス推進センター長 中川 大

研究推進機構

研究推進機構長 北島 勲

学術研究・産学連携本部長 柴柳 敏哉

水素同位体科学研究センター長 阿部 孝之

極東地域研究センター長 和田 直也

アイドリング脳科学研究
センター長 井ノ口 馨先進アルミニウム国際研究
センター長 松田 健二

研究推進総合支援センター長 笹岡 利安

地域連携推進機構

地域連携推進機構長 武山良三

地域連携戦略室長 金岡 省吾

生涯学習部門長 矢口 忠憲

地域づくり・文化支援部門長 奥 敬一

地域医療・保健支援部門長 関根道和

国際機構

国際機構長 池田 真行

グローバルフロント長 木村 裕三

交流部門長 吉川 朋子

教育部門長 田中 信之

学内共同教育研究施設**総合情報基盤センター**

総合情報基盤センター長 柴田 啓司

環境安全推進センター

環境安全推進センター長 野崎 浩一

自然観察実習センター

自然観察実習センター長 大川 信行

保健管理センター

保健管理センター長 松井 祥子

未病研究センター

未病研究センター長 齋藤 滋

ダイバーシティ推進センター

ダイバーシティ推進センター長 神川 康子

事務局

事務局長 下敷 領 強

総務部長 大森 浩之

財務部長 大宮 一弘

施設企画部長 戸島 準一郎

学務部長 中三川 敏之

研究振興部長 松井 一澄

国際部長 井村 隆

学術情報部長 前川 敦子

人社系事務部長 寺林 忠男

理工系事務部長 伏喜 俊至

医薬系事務部長 佐藤 修

病院事務部長 長谷川 浩一

学部・教養教育院

人文学部



思想・文化・歴史・言語・社会・心理・文学などに対する多様なアプローチで、人間への理解を深める知的探求の場です。1学科9コースのもとに23の多彩な教育研究分野があり、人間や社会に対する幅広い視野と洞察力、豊かな国際感覚を身につけることができます。日本・中国・ロシア及び朝鮮半島の諸地域について学べるのも本学部の特色です。



▲ 下:現在の人文学部 上:旧制富山高等学校(本学部の前身)

人間発達科学部



「発達教育学科」と「人間環境システム学科」の2学科6コースを設けて、学校教員の養成にとどまらず、生涯教育時代にふさわしい教育人材を育てる先進的な教育カリキュラムを提供します。学校教育・生涯教育・社会教育から企業内教育まで、広義の教育の場面で活躍できる持続可能な自己教育力を持った人材の育成を目指しています。



経済学部



経済、経営、法律を横断的に学べる社会科学系総合学部です。昼間主コースには7つの履修コースがあり、将来の職業を意識しながら、明確な目的意識を持って学ぶことができます。また、働きながら学ぶ社会人等を対象とした夜間主コースも設けられ、多様な学生が学んでいることも特徴です。企業のトップをはじめ、社会で活躍中の実務家による特殊講義も数多く用意されています。



理学部



自然界を律する基本的な原理や法則の探求を使命とする学部です。最先端の研究を通じて、専門知識と問題解決能力を持った人材の育成を目指しています。また、広い視野から問題解決にあたる応用力を育成するため、専攻分野以外の専門基礎分野の履修が必要なカリキュラムとしています。更に、外国人教師による科学英語の講義やeラーニングなど、時代のニーズに応える教育システムの構築にも力を注いでいます。



工学部



近年の社会の変革と急激な技術の革新に合わせて、工学教育も多様化、個性化、専門化へと進んでいます。また、工学倫理や生命倫理に基づき、地域社会や国際社会に貢献できる人が強く求められています。これらの観点から、工学部では、広く深い教養と専門的知識の修得はもとより、それらを諸課題に応用できる独創性教育、地球や人間に優しい環境教育、国際社会に対応できる語学や情報教育を重視し、豊かな人間性をもった優秀な研究者・技術者を育成しています。



都市デザイン学部



都市デザイン学部では、「地球科学」、「都市と交通」、「材料工学」の専門知識を融合させ、安全・安心な都市の創出と、地域創生が可能な人材の育成を目指します。高低差4000mという壮大で美しい自然を有し、海外にも知られる国内トップレベルの先進的な都市づくりを推進している富山を実践フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を習得していきます。



医学部



東西医薬学の融合を理念に、慈愛の精神にあふれ高い技術をそなえた医療人の育成を目指しています。医学科と看護学科の2学科があり、同じキャンパス内の薬学部とも緊密に連携を図っています。医学科専門課程では臓器別の統合的カリキュラムと少人数問題解決型の教育を導入しています。看護学科では科学と人間性の調和を重視した教育を行い、卒業生は就職先の病院からも高い評価を受けています。



薬学部



薬学部は、薬剤師養成の6年制課程と創薬研究者養成の4年制課程を併設し、一世紀以上の伝統を有する学部です。最新の薬学から伝統医薬まで幅広く学べる大きな特長で、薬都ならではの特色ある研究教育は高い評価を受けています。医学部、附属病院、和漢医薬学総合研究所が同じキャンパス内にあるメリットを生かし、薬剤師と研究者の双方を育成しています。



芸術文化学部



芸術文化学部は1学科4コース制。芸術文化に対する感性と幅広い分野の知識・技術を活用し、人間と自然や社会との関わりを見つめ、そこに存在する数々の問題を発見し、解決しようと自発的に行動する意欲的な人材の育成を目的としています。各コースの専門領域教育を行う一方で、社会環境の変化や地域からの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、幅広い教養が身につくカリキュラムと独自の履修システムによる融合教育を行っています。



教養教育院



教養教育院では、学修の基礎となる幅広い知性・知恵・実践的能力の形成と市民的公共性・社会的公共性・本源的公共性を身に付けるため、多様な能力を養う全学共通の授業科目を提供します。キャンパスを越えた多様な学生の学び合いから、「組織や社会の一員として貢献する能力、他者と意思を疎通するコミュニケーション能力」の基盤を形成し、「高い使命感と創造力のある人材」を社会や産業界に輩出することを目指します。



大学院

人文科学研究科



広くかつ深く身につけた高度の人文科学的教養を背景に、深い人間理解の能力を持ち、視野が広く見識に富み、様々な課題に対処できる高度専門職業人として、さらに21世紀を生きる倫理観を備えた創造性に富む市民として、地域に根ざしながらグローバル化時代を自立して生きていく能力を持つ社会人の育成を目指します。

1専攻15の研究分野を置き、多彩な専門性を持つ大学院です。日本・中国・ロシア及び朝鮮半島の諸地域について専門的に研究できるのも本研究科の特色です。



人間発達科学研究科



発達教育専攻と発達環境専攻の2専攻からなっており、地域社会における広義の教育の一翼を担うに足る、人間発達の支援・促進及び人間発達の環境条件の改善・充実に関する高度な専門的能力と高い指導性を備え、地域社会の持続的発展において主導的役割を果たし得る教育人材を養成しています。



経済学研究科



地域・経済政策専攻と企業経営専攻の2つの専攻があり、高度な専門知識を有する経済人の育成と経済学、経営学、法学の研究者の養成に取り組んでいます。経済社会の情報化、国際化などに対応できるように、経済学、経営学、法学という社会科学の主要な分野を広範囲に、かつ、学際的に教育・研究することができるという特徴を備えています。さまざまな分野における現実の諸問題を創意工夫して解決することを狙いとした実務的な授業科目を多くし、また、新しい専門領域を加味した現代的な授業科目を設けています。



芸術文化学研究科



総合芸術を基盤とした人間の文化活動全般を教育研究の対象とし、独自の表現法とその成果の社会的活用という観点から、多角的な研究手法による実践的研究を通じて、これからの社会において、学芸の深化を実現させる教育研究を通し、芸術の成果を活用して心豊かな地域文化を創生するために、先導的役割を担う人材を養成することによって社会の創造性を強化することを目的としています。



生命融合科学教育部



生命融合科学教育部では、脳神経系を中心とした生命システムの解明からヒトの健康維持・障害支援に関わる物質や機能材料及び情報・機械システムの開発までを視野に入れた先端的な知識と技術を教育し、これからの先端生命科学技術、高齢化福祉・高度医療、生命環境などの社会活動分野において、領域横断的に活躍できる人材を養成することを目的としています。医・薬・理・工という4つの大きな学系が生命科学に結集して教育にあたるのは我が国でも初の試みです。また、障害を持つ学生に開かれた大学院教育を目指し、障害者の視点と感性を導入・共有して新しいスタイルの教育・研究を展開します。



医学薬学教育部



医学、看護学及び薬学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

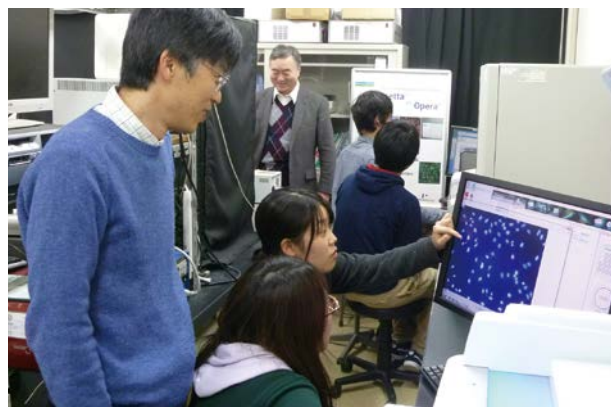


理工学教育部



修士課程においては、理学部、工学部の学科構成に対応した各分野における専門的知識と課題探求・課題解決能力を有する高度専門職業人となる人材を育成しています。

博士課程においては、理学及び工学分野の積極的融合により新たな学際領域、数理・ヒューマンシステム科学、ナノ新機能物質科学、新エネルギー科学及び地球生命環境科学の分野における科学・技術の高度化に対応でき、独創的な研究能力を有する研究者や地域産業の中核的担い手となる高度技術者を育成しています。



教職実践開発研究科



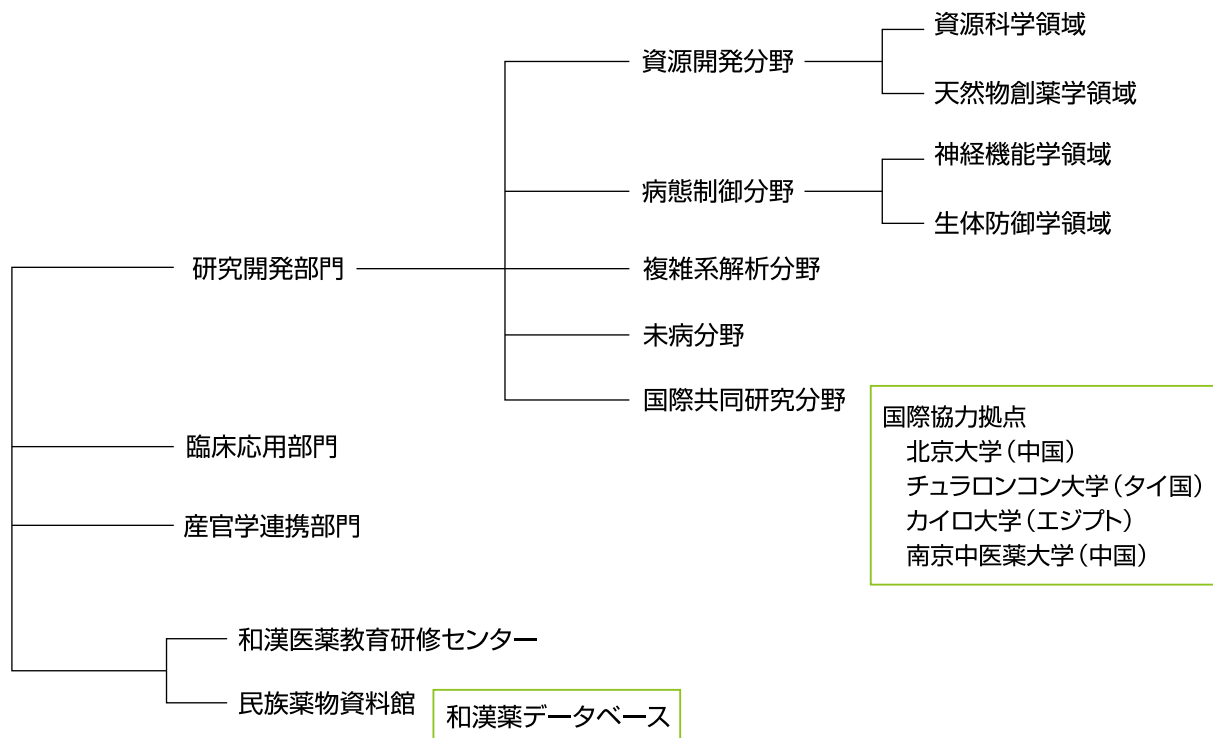
教職実践開発研究科は、富山大学と富山県教育委員会の強い連携・協働体制の下、学校現場が抱える今日的教育課題について深く理解し、高度な専門性と実践力、高い課題解決力を備えた、“チーム学校”の牽引役となるスクールリーダーの養成を目指します。



和漢医薬学総合研究所

伝統医学は人類が自然の摂理と天然の恵みを巧みに利用し、疾病の予防、治療にあたってきた経験知の集積です。和漢医薬学総合研究所は、現代の先端科学技術を駆使して、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物を科学的に研究し、東洋医薬学と西洋医薬学の融合を図り、新しい医薬学体系の構築と自然環境の保全を含めた全人的医療の構築に貢献することを使命として、①天然薬物資源の確保と保全、②和漢医薬学の基礎研究の推進と東西医薬学の融合、③漢方医学における診断治療体系の客観化と人材の育成、④伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成 の重点課題を設けて、研究を推進してきました。

近年、世界的に問題になっている高齢化の進行、多因子性疾患の増加、及び天然資源の枯渇に鑑み、本研究所は新たに重点研究プロジェクトを定め、推進し、その成果を社会実装するための組織へと2020年4月に改組しました。研究開発部門では5分野（資源開発、病態制御、複雑系解析、未病、国際共同研究）が連携し、特に臨床研究への橋渡しを目指した基礎研究や新規メカニズムに基づく創薬基盤の構築を目指した研究を行います。さらに、臨床応用、産官学連携の2部門では、附属病院や企業と協力して臨床試験や医薬品候補の発掘を推進します。加えて、漢方医学教育を実践できる教員の育成とその教育研修システムの確立を目的とした和漢医薬教育研修センターを立ち上げました。これらの3部門1センターが互いに連携し、東西医薬学の融合を基盤とした次世代型医療科学を創生して、健康長寿社会の形成に貢献することを目指します。



▲ 脈診



▲ 夏期セミナーでの丸剤づくりの実習の様子



▲ 民族薬物資料館見学の様子

附属病院

県内唯一の特定機能病院である附属病院は患者さんに高度医療・最善の医療を提供するとともに、便利で快適な医療環境を提供し、本院の特色でもある東洋と西洋の医療の融合とともに、臨床研究を推進しております。

富山県民から信頼される病院となるよう努力してまいります。

<p>病床数</p>	<p>612床</p> <p>一般病棟569床 (ICU 8床, NICU 12床, GCU 10床, HCU 14床, MFICU 3床, 小児入院医療管理病床28床)</p> <p>精神病床43床</p>																
<p>診療科</p>	<p>第一内科診療部門, 第二内科診療部門, 第三内科診療部門, 和漢診療科, 脳神経内科(神経内科), 感染症科, 皮膚科, 小児科診療部門, 神経精神科, 放射線科診療部門, 第一外科診療部門, 第二外科診療部門, 脳神経外科診療部門, 整形外科, 産科婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 泌尿器科, 形成再建外科・美容外科, 麻酔科, 歯科口腔外科(顎口腔外科・特殊歯科), 救急科, リハビリテーション科</p> <p>各診療部門の内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>第一内科診療部門</td> <td>糖尿病代謝・内分泌内科, 免疫・膠原病内科, 呼吸器内科</td> </tr> <tr> <td>第二内科診療部門</td> <td>循環器内科, 腎・高血圧内科</td> </tr> <tr> <td>第三内科診療部門</td> <td>消化器内科, 血液内科</td> </tr> <tr> <td>小児科診療部門</td> <td>小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科</td> </tr> <tr> <td>放射線科診療部門</td> <td>放射線診断科, 放射線治療科</td> </tr> <tr> <td>第一外科診療部門</td> <td>心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科</td> </tr> <tr> <td>第二外科診療部門</td> <td>消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科診療部門</td> <td>脳神経外科, 脳血管内治療科</td> </tr> </table>	第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, 免疫・膠原病内科, 呼吸器内科	第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科	第三内科診療部門	消化器内科, 血液内科	小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科	放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科	第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科	第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科	脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科
第一内科診療部門	糖尿病代謝・内分泌内科, 免疫・膠原病内科, 呼吸器内科																
第二内科診療部門	循環器内科, 腎・高血圧内科																
第三内科診療部門	消化器内科, 血液内科																
小児科診療部門	小児総合内科, 小児循環器内科, 小児発達神経科																
放射線科診療部門	放射線診断科, 放射線治療科																
第一外科診療部門	心臓血管外科, 小児循環器外科, 呼吸器一般外科																
第二外科診療部門	消化器外科, 乳腺科・内分泌外科, 小児外科																
脳神経外科診療部門	脳神経外科, 脳血管内治療科																
<p>中央診療施設等</p>	<p>検査・輸血細胞治療部, 手術部, 放射線部, 材料部, 災害・救命センター, 集中治療部, 医療情報部, 光学医療診療部, 診療情報管理部, 周産母子センター, 病理部, 総合診療部, 遺伝子診療部, 循環器センター, 包括的脳卒中センター, 総合感染症センター, リハビリテーション部, 透析部, 医療福祉サポートセンター, 医療の質・安全推進部, 感染制御部, 医療機器管理センター, 栄養部, 臨床研修部, 集学的がん診療センター, 臨床腫瘍部, 痛みセンター, 再生医療センター, 総合感染症センター, がんゲノム医療推進センター, 膵臓・胆道センター, 糖尿病センター, 薬剤部, 看護部, 臨床研究管理センター, 女性医師支援室, 看護師特定行為研修センター, 地域医療再生センター, 乳がん先端治療・乳房再建センター, 地域医療総合支援センター</p>																



▲ 医学生や若手医師の教育にも力を注いでいます。



▲ 外来棟 外観



▲ ヘリポート

附属図書館

附属図書館には、中央図書館(五福キャンパス)、医薬学図書館(杉谷キャンパス)、芸術文化図書館(高岡キャンパス)の3つの図書館があります。



▲ 中央図書館



▲ 医薬学図書館



▲ 芸術文化図書館

特殊コレクション

・ヘルン文庫

ラフカディオ・ハーン Lafcadio Hearn (小泉八雲、1850~1904)の旧蔵書。洋書2,069冊、和漢書364冊及び「神國日本」の手書き原稿約1,200枚からなる。旧制富山高校の設立のため多大な寄附をした富山市東岩瀬の馬場はる氏から開校記念式典にお祝いとして寄贈されたもの。

・川合文書

藩政期に砺波郡戸出村(現高岡市戸出)に居住した十村(加賀藩における大庄屋の呼称)、川合家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、3,128点からなる。

・菊池文書

藩政期に砺波郡野尻村(現南砺市野尻)に居住した十村、菊池家に伝来した文書で、藩政初期から明治に至るまでの農政等に関する記録、2,130点からなる。

・鷹栖文庫

旧砺波郡鷹栖村(現砺波市鷹栖)の幕末以降昭和20年代に至る約100年間の村政文書類1,600点からなる。



▲ ヘルン文庫の蔵書棚

蔵書冊数

令和2年3月31日現在

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	743,846	317,983	1,061,829
医薬学図書館	119,368	99,343	218,711
芸術文化図書館	57,647	13,375	71,022
合計	920,861	430,701	1,351,562

受入冊数

令和元年度

区分	和書	洋書	合計
中央図書館	7,467	678	8,145
医薬学図書館	1,984	282	2,266
芸術文化図書館	504	193	697
合計	9,955	1,153	11,108

雑誌所蔵種類数

令和2年3月31日現在

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	12,794	4,822	17,616
医薬学図書館	2,247	2,214	4,461
芸術文化図書館	822	213	1,035
合計	15,863	7,249	23,112

雑誌受入種類数

令和元年度

区分	和雑誌	洋雑誌	合計
中央図書館	1,747	143	1,890
医薬学図書館	425	26	451
芸術文化図書館	88	30	118
合計	2,260	199	2,459

利用状況

令和元年度

区分	入館者数	貸出冊数			
		学生	教職員	学外者	合計
中央図書館	301,983	42,470	5,433	4,160	52,063
医薬学図書館	272,722	12,270	2,609	1,109	15,988
芸術文化図書館	16,031	6,710	835	508	8,053
合計	590,736	61,450	8,877	5,777	76,104

電子ジャーナル(利用可能タイトル数)

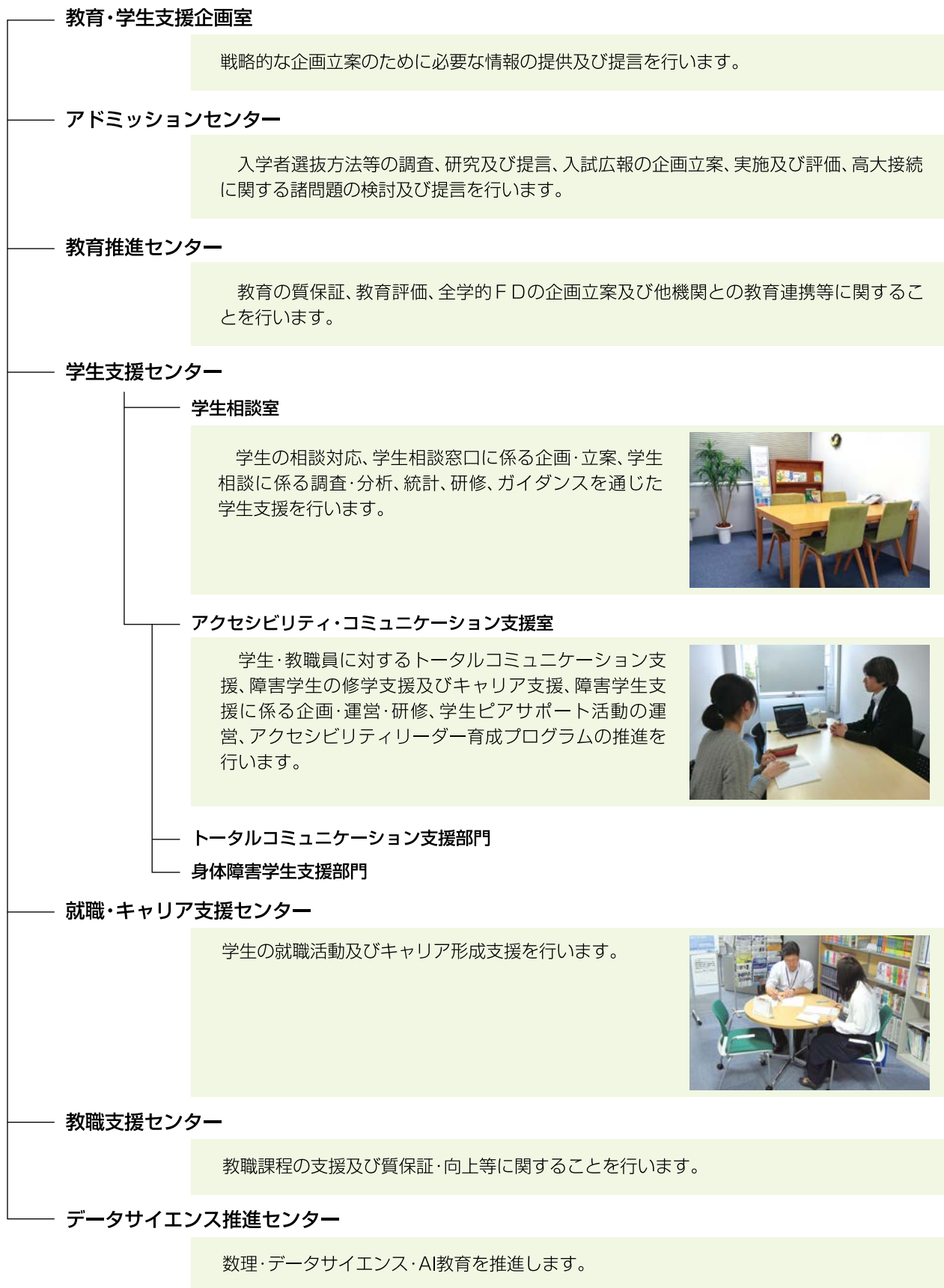
令和元年度

本学で利用可能なタイトル数(純タイトル数)	令和元年度
中央図書館	9,032
医薬学図書館	13,650
芸術文化図書館	8,332

教育・学生支援機構

本学の理念及び目標の実現に向け、アドミッションポリシーで求める人材の確保、教育の質保証及び学生の充実した修学・生活環境の構築を図るために必要な全学的な施策の推進、調整、支援を行い、もって人材の育成に寄与することを目的としています。

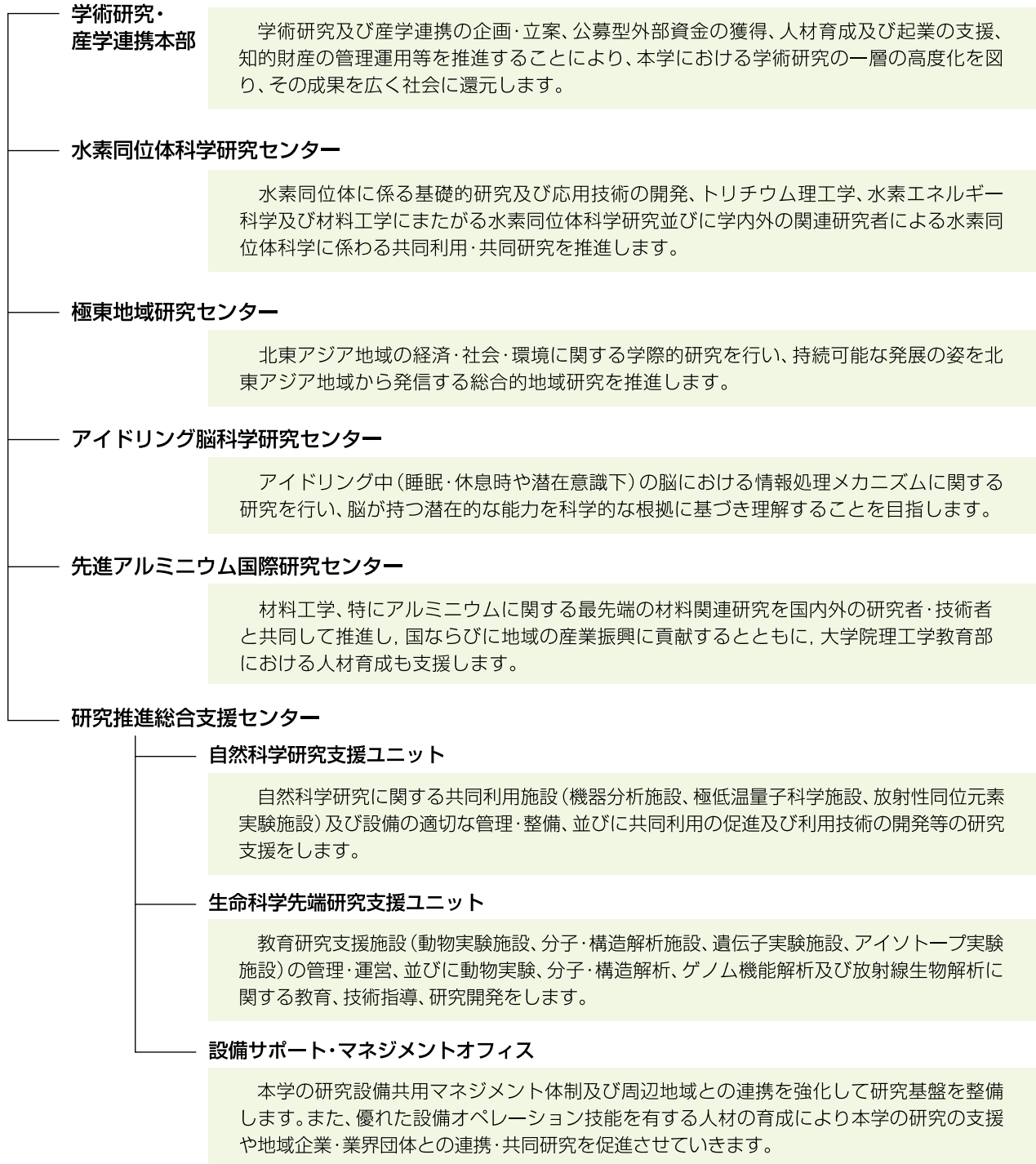
教育・学生支援機構



研究推進機構

本学における特色ある研究の推進と、多様な分野での研究の推進を支援するとともに、世界と地域に向けて研究成果を発信し、将来を担う人材を育成することを目的としています。

研究推進機構



富山市新産業支援センター

医薬バイオ、ナノテク、IT、環境など、今後成長が期待される新産業を育成することを目的に平成19年4月に富山市が富山大学工学部敷地内に設置しました。

センターでは、研究開発型ベンチャーや創業者、今後事業化を目指す企業等の皆様を支援するためのレンタルラボを設置し、また、多くの支援メニューを備えて産学官連携・新事業分野への進出を推進しています。

（平成21年4月から、国立大学法人富山大学が指定管理者として管理運営業務を行っております。）



地域連携推進機構

地域社会の自律的発展に貢献するため、社会人教育による市民生活の充実、地域課題解決への先導的役割等を果たすとともに、地域社会と連携する中核拠点としての機能を果たすことを目的としています。

地域連携推進機構

地域連携戦略室

地域連携戦略の企画立案、地方公共団体や民間企業、各種団体と連携した地域振興への企画立案及びコーディネート等、本学の地域連携に関するシンクタンク機能を担います。



生涯学習部門

富山大学の持つ様々な知識・技術を公開講座やオープン・クラス（正規授業の公開）などを通じて開放し、地域社会の学習環境を豊かにします。あらゆる世代が自然にキャンパスを闊歩する、そんな富山大学の学風を目指します。

富山大学の知的資源を開放することを通して、地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与します。



▲サテライト講座

地域づくり・文化支援部門

高度差4,000mが育む地域資源を活用した課題解決や人材育成に取り組むとともに、伝統文化や芸術活動にもとづく豊かな地域文化を醸成するための支援を行うことで、地域づくりに貢献します。



▲地域の伝統産業をテーマとした特別公開フォーラム

地域医療・保健支援部門

地域との連携を推進し、地域医療や地域保健に関する人材育成、調査、研究、情報発信を通じて、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献します。

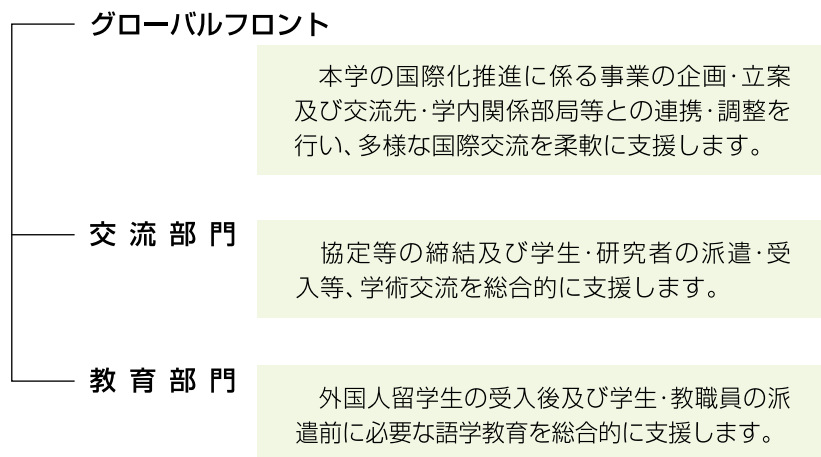


▲地域包括ケアシステムに関するセミナーの様子

国際機構

本学における国際化推進に係る事業を統括支援し、本学の国際化を推進することを目的としています。

国際機構



国際交流会館

国際交流を促進するため、外国人留学生及び外国人研究者用として、国際交流会館が設置されています。

五福国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	单身室	16m ²	34	5	39
	夫婦室	39m ²	5	2	7
	家族室	57m ²	1	2	3
	計		40	9	49
共用関係	事務室、多目的室、ランドリー、トランクルーム				

杉谷国際交流会館

区分	室名	床面積	留学生用	研究者用	計
居室	单身室	19m ²	18		18
	夫婦室	37m ²	3		3
	家族室	53m ²	4		4
	計		25		25
共用関係	事務室、研修室、図書室、ランドリー				

学内共同教育研究施設

名 称	業 務 内 容
総合情報基盤センター	<p>情報システムの運用管理、学内外の情報通信、情報システム資源及び情報共有、教育研究等の支援及び関連する研究開発を行っています。</p> 
環境安全推進センター	<p>環境配慮活動及び安全衛生の推進、薬品管理、排水管理、廃棄物管理、作業環境管理、作業管理及びその指導・助言を行っています。</p> 
自然観察実習センター	<p>野外教育(自然観察・栽培等)の実習及び本学の関連領域における教育・研究などの材料の育成管理・提供を行っています。</p>

保健管理センター

学生・教職員の健康保持・増進と保健衛生に関する専門的業務を行う施設です。

保健管理センターには、専任教員(医療や相談を担当)や看護師のほか、カウンセラー等が配置され、健康診断や応急処置から相談事項(健康、精神的な悩み、対人関係など)まで対応します。また、各キャンパスでは、施設の一部を開放しており、各種計測器、トレーニング補助器具、リラクゼーション機器等を利用することができます。



▲ 血圧測定の様子



▲ 相談室(高岡キャンパス)



▲ 休憩コーナー(杉谷キャンパス)

学部附属教育研究施設

人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター

教育実践に関する理論的・実践的研究及び指導を行っています。教師教育、教育相談、教材教具の開発、教員の資質を高める講演会の実施、研究紀要の発刊を行っています。



▲ 臨床と発達の心理学講座の様子

薬学部附属薬用植物園

薬用植物を栽培し、薬学関連の学術研究及び学生の教育に資することを目的として設けられています。薬学関連の研究・教育に携わる学外の方にも利用いただいているほか、年2回、一般の方にも公開しています。



▲ 薬用植物園内の温室

附属学校

附属学校は人間発達科学部附属幼稚園、人間発達科学部附属小学校、人間発達科学部附属中学校、人間発達科学部附属特別支援学校があります。

幼児の保育、義務教育として行われる普通教育又は知的障害に係る特別支援教育を施すとともに、人間発達科学部に附属する教育研究の機関として、学部における幼児、児童及び生徒の保育又は教育に関する研究に協力し、学部の計画に基づき学生の教育実習の実施に当たっています。また、教育の理論と実践についての先進的な研究に取り組み、その成果を公開しています。



令和2年4月1日現在

学部	区分		学級数	学級定員	収容定員
人間発達科学部	幼稚園	3歳児	1	20	20
		4歳児	2	35	70
		5歳児	2	35	70
	小学校	普通学級	12	35	420
	中学校	普通学級	12	40	480
	特別支援学校	小学部	3	6	18
		中学部	3	6	18
高等部		3	8	24	

役職員数

令和2年5月1日現在

役員数

区分	学長	理事	監事	合計
役員	1	7 [1]	2 [1]	10 [2]

・ []内数字は、理事(非常勤)で内数。
 ・ []内数字は、監事(非常勤)で内数。

教職員数

区分	教授	准教授	講師	助教	助手	特命教員	附属学校教諭	事務系職員	技術系職員	医療系職員	合計
事務局								216 (8)	3 (2)		219
人社系事務部								28	1 (1)		29
理工系事務部								23	23		46
医薬系事務部								61	27		88
病院事務部								53			53
芸術文化学部総務課								17	1		18
人文学部											
人間発達科学部											
経済学部											
芸術文化学部											
医学部											
薬学部											
理学部											
工学部											
都市デザイン学部											
人文科学系	33	17	1			1					52
教育学系	32	22	7								61
附属学校							75				75
社会科学系	33	18	6		5						62
芸術文化学系	12	14	12	2		1					41
教養教育学系	10	11	1	2							24
大学院教職実践開発研究科											
医学系	51 [2]	35 [1]	31	125 [3]	2	31 (2)					275 [6]
薬学・和漢系	23 [1]	19	1	26 [1]		1					70 [2]
理学系	25	18	7	9							59
工学系	38 [1]	26	10	15 [1]	1	2					92 [2]
都市デザイン学系	30	14		5		1 (1)					50
和漢医薬学総合研究所											
附属病院	4 [4]		1 [1]	4 [4]				2	22 (22)	897 (746)	930 [9]
教育・学生支援機構	1					2					3
研究推進機構	9	5	2	3		2		2	4		27
地域連携推進機構	2	1	1			1					5
国際機構	1	2	1								4
総合情報基盤センター	1	3	2								6
環境安全推進センター		1									1
保健管理センター	1	3	1							4 (4)	9
合計	306 [8]	209 [1]	84 [1]	191 [9]	8	42 (3)	75	402 (8)	81 (25)	901 (750)	2,299 [19]

・ []内数字は寄附講座教員・共同研究講座教員で内数。※医学部、薬学部、工学部所属の寄附講座等教員は、それぞれ医学系、薬学・和漢系、工学系へ分類。
 ・ 「特命教員」欄の()内数字は特別研究教授で内数。
 ・ 「事務系職員」欄の()内数字は参与及び参事で内数。
 ・ 「技術系職員」欄の()内数字は技能職員で内数。
 ・ 「医療系職員」欄の()内数字は看護師及び助産師で内数。
 ・ 「研究推進機構」欄に含まれる「教育研究推進系」教員：教授 1、准教授 2、特命教員 1

学部学生の地域別入学状況

令和2年度

学部	地方	北海道	東北	関東	甲信越	北陸			東海	関西	中国	四国	九州・沖縄	その他	留学生	合計
						富山県	石川県	福井県								
人文学部		2	5	10	22	50	38	14	20	10	0	1	4	1	2	179
人間発達科学部		2	5	6	12	70	39	12	11	10	4	4	0	0	3	178
経済学部	昼間主コース	1	3	10	36	91	76	17	53	16	1	1	3	1	3	312
	夜間主コース	0	1	1	2	25	0	0	1	1	0	0	0	2	0	33
	計	1	4	11	38	116	76	17	54	17	1	1	3	3	3	345
理学部		3	5	31	14	42	19	12	46	15	5	3	1	1	0	197
医学部		0	1	28	24	62	22	3	29	13	1	0	1	1	0	185
薬学部		9	12	14	20	16	7	8	10	8	3	0	2	0	0	109
工学部		3	3	23	30	80	69	17	116	22	1	0	0	0	9	373
芸術文化学部		1	4	8	12	28	22	7	7	14	2	3	2	1	1	112
都市デザイン学部		4	4	18	8	35	30	5	23	8	3	2	2	1	3	146
合計		25	43	149	180	499	322	95	316	117	20	14	15	8	21	1,824
割合 (%)		1.4	2.4	8.2	9.9	27.4	17.7	5.2	17.3	6.4	1.1	0.8	0.8	0.4	1.2	100.0
						50.2										
						67.5										

※各地域の数字は出身高等学校の所在地別入学者数を表す
 ※その他:「高等学校卒業程度認定試験合格者」、「外国の学校出身者」等

学科・専攻・取得できる学位

学部

学部	学科	取得できる学位
人文学部	人文学科	文学
人間発達科学部	発達教育学科	教育学
	人間環境システム学科	
経済学部	経済学科	経済学
	経営学科	経営学
	経営法学科	法学
理学部	数学科	理学
	物理学科	
	化学科	
	生物学科	
	地球科学科	
医学部	医学科	医学
	看護学科	看護学
薬学部	薬学科	薬学
	創薬科学科	薬科学
工学部	電気電子システム工学科	工学
	知能情報工学科	
	機械知能システム工学科	
	生命工学科	
	環境応用化学科	
	材料機能工学科	
	工学科	
芸術文化学部	芸術文化学科	芸術文化学
都市デザイン学部	地球システム科学科	理学
	都市・交通デザイン学科	工学
	材料デザイン工学科	工学

大学院

大学院	課程	専攻	取得できる学位	
人文科学研究科	修士課程	人文科学専攻	修士	文学
人間発達科学研究科	修士課程	発達教育専攻	修士	教育学
		発達環境専攻		
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	修士	経済学
		企業経営専攻		経営学
芸術文化学研究科	修士課程	芸術文化学専攻	修士	芸術文化学
生命融合科学教育部	博士課程	認知・情動脳科学専攻	博士	医学
		生体情報システム科学専攻		薬科学
		先端ナノ・バイオ科学専攻		理学 工学
医学薬学教育部	修士課程	医科学専攻	修士	医科学
	博士前期課程	看護学専攻		看護学
		薬科学専攻		薬科学
	博士後期課程	看護学専攻	博士	看護学
		薬科学専攻		薬科学
	博士課程	生命・臨床医学専攻		医学
		東西統合医学専攻		
		薬学専攻	薬学	
	理工学教育部	修士課程	数学専攻	修士
物理学専攻				
化学専攻				
生物学専攻				
地球科学専攻				
生物圏環境科学専攻				
電気電子システム工学専攻			工学	
知能情報工学専攻				
機械知能システム工学専攻				
生命工学専攻				
環境応用化学専攻				
材料機能工学専攻				
博士課程		数理・ヒューマンシステム科学専攻	博士	理学 工学
		ナノ新機能物質科学専攻		
		新工ネルギー科学専攻		
	地球生命環境科学専攻			
教職実践開発研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	教職修士(専門職)	

学生の定員・現員

学部

単位:人

学部	学科	入学定員		収容定員	1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			合計		
		男	女		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
		計	男		女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
人文学部	人文学科	170	—	695	71	108	179	58	117	175	62	125	187	76	144	220	—	—	—	—	—	267	494	761	
	計	170	(7)※	709	71	108	179	58	117	175	62	125	187	76	144	220	—	—	—	—	—	267	494	761	
人間発達科学部	発達教育学科	80	—	320	23	62	85	22	60	82	20	65	85	23	63	86	—	—	—	—	—	88	250	338	
	人間環境システム学科	90	—	360	56	36	92	49	42	91	65	29	94	54	48	102	—	—	—	—	—	224	155	379	
	計	170	—	680	79	98	177	71	102	173	85	94	179	77	111	188	—	—	—	—	—	312	405	717	
経済学部	昼間主コース	経済学科	120	—	495	93	27	120	87	42	129	97	34	131	105	53	158	—	—	—	—	382	156	538	
		経営学科	100	—	415	56	48	104	59	42	101	57	47	104	83	55	138	—	—	—	—	255	192	447	
		経営法学科	85	—	350	40	47	87	44	40	84	45	45	90	61	46	107	—	—	—	—	190	178	368	
		小計	305	(10)※	1,280	189	122	311	190	124	314	199	126	325	249	154	403	—	—	—	—	—	827	526	1,353
	夜間主コース	経済学科	10	—	50	6	6	12	7	3	10	9	2	11	19	6	25	—	—	—	—	41	17	58	
		経営学科	10	—	50	5	6	11	4	6	10	6	4	10	10	10	20	—	—	—	—	25	26	51	
		経営法学科	10	—	50	7	3	10	5	5	10	5	5	10	15	11	26	—	—	—	—	32	24	56	
		小計	30	—	150	18	15	33	16	14	30	20	11	31	44	27	71	—	—	—	—	98	67	165	
計	335	(10)※	1,430	207	137	344	206	138	344	219	137	356	293	181	474	—	—	—	—	—	925	593	1,518		
理学部	数学科	50	—	200	44	7	51	45	5	50	47	13	60	39	12	51	—	—	—	—	175	37	212		
	物理学科	40	—	160	41	1	42	35	7	42	50	8	58	27	7	34	—	—	—	—	153	23	176		
	化学科	35	—	140	22	15	37	21	17	38	33	11	44	26	8	34	—	—	—	—	102	51	153		
	生物学科	35	—	140	23	14	37	26	11	37	28	13	41	21	19	40	—	—	—	—	98	57	155		
	地球科学科	—	—	40	—	—	—	—	—	—	7	2	9	28	11	39	—	—	—	—	35	13	48		
	生物圏環境科学科	30	—	120	21	9	30	19	11	30	18	18	36	19	14	33	—	—	—	—	77	52	129		
	計	190	(4)※	808	151	46	197	146	51	197	183	65	248	160	71	231	—	—	—	—	640	233	873		
医学部	医学科	105	(5)☆	655	55	51	106	72	41	113	74	42	116	86	30	116	68	35	103	68	39	107	423	238	661
	看護学科	80	(10)※	340	7	76	83	2	76	78	6	84	90	5	83	88	—	—	—	—	—	20	319	339	
	計	185	(5)☆ (10)※	995	62	127	189	74	117	191	80	126	206	91	113	204	68	35	103	68	39	107	443	557	1,000
薬学部	薬学科	55	—	330	26	30	56	28	32	60	29	31	60	32	33	65	26	25	51	24	30	54	165	181	346
	創薬科学科	50	—	200	40	19	59	35	21	56	33	15	48	32	18	50	—	—	—	—	—	140	73	213	
	計	105	—	530	66	49	115	63	53	116	62	46	108	64	51	115	26	25	51	24	30	54	305	254	559
工学部	電気電子システム工学科	—	—	88	—	—	5	0	5	6	0	6	92	1	93	—	—	—	—	—	103	1	104		
	知能情報工学科	—	—	72	—	—	0	0	0	10	1	11	73	9	82	—	—	—	—	—	83	10	93		
	機械知能システム工学科	—	—	90	—	—	2	0	2	9	0	9	100	3	103	—	—	—	—	—	111	3	114		
	生命工学科	—	—	52	—	—	2	1	3	2	1	3	29	21	50	—	—	—	—	—	33	23	56		
	環境応用化学科	—	—	52	—	—	1	0	1	8	0	8	30	20	50	—	—	—	—	—	39	20	59		
	材料機能工学科	—	—	51	—	—	1	0	1	5	0	5	46	6	52	—	—	—	—	—	52	6	58		
	工学科	365	—	1,095	321	52	373	344	54	398	304	50	354	—	—	—	—	—	—	—	969	156	1,125		
	計	365	(20)※ (17)※	1,537	321	52	373	355	55	410	344	52	396	370	60	430	—	—	—	—	—	1,390	219	1,609	
芸術文化学部	芸術文化学科	110	—	445	27	85	112	25	94	119	24	90	114	31	98	129	—	—	—	—	107	367	474		
	計	110	—	445	27	85	112	25	94	119	24	90	114	31	98	129	—	—	—	—	107	367	474		
都市デザイン学部	地球システム科学科	40	—	120	30	10	40	31	11	42	30	10	40	—	—	—	—	—	—	—	91	31	122		
	都市・交通デザイン学科	40	—	121	30	11	41	35	6	41	27	13	40	—	—	—	—	—	—	—	92	30	122		
	材料デザイン工学科	60	—	182	60	9	69	53	10	63	47	8	55	—	—	—	—	—	—	—	160	27	187		
	計	140	(3)※	423	120	30	150	119	27	146	104	31	135	0	0	0	—	—	—	—	343	88	431		
合計	1,770	(5)☆ (71)※	7,557	1,104	732	1,836	1,117	754	1,871	1,163	766	1,929	1,162	829	1,991	94	60	154	92	69	161	4,732	3,210	7,942	

(注)入学定員の() ※は、3年次編入学定員を外数で、() ☆は、医学科の2年次編入学定員を外数で示す。工学部については、2019年度の3年次編入学定員が20名、2020年度の3年次編入学定員が17名のため、併記する。

大学院

単位:人

研究科等	課程	専攻	入学定員	収容定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文科学研究科	修士課程	人文科学専攻	8	16	4	5	9	5	8	13	—			—			9	13	22
		計	8	16	4	5	9	5	8	13	—			—			9	13	22
人間発達科学研究科	修士課程	発達教育専攻	6	12	1	3	4	5	1	6	—			—			6	4	10
		発達環境専攻	6	12	4	3	7	9	5	14	—			—			13	8	21
		計	12	24	5	6	11	14	6	20	—			—			19	12	31
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	6	12	4	2	6	4	2	6	—			—			8	4	12
		企業経営専攻	12	24	4	8	12	8	3	11	—			—			12	11	23
		計	18	36	8	10	18	12	5	17	—			—			20	15	35
芸術文化科学研究科	修士課程	芸術文化学専攻	8	16	2	5	7	6	4	10	—			—			8	9	17
		計	8	16	2	5	7	6	4	10	—			—			8	9	17
生命融合科学教育部	博士課程	認知・情動脳科学専攻	9	36	2	3	5	7	2	9	4	2	6	9	2	11	22	9	31
		生体情報システム科学専攻	4	12	3	0	3	3	0	3	4	0	4	—			10	0	10
		先端ナノ・バイオ科学専攻	4	12	0	1	1	2	0	2	0	2	2	—			2	3	5
		計	17	60	5	4	9	12	2	14	8	4	12	9	2	11	34	12	46
医学薬学教育部	修士課程	医科学専攻	15	30	3	0	3	10	0	10	—			—			13	0	13
		小計	15	30	3	0	3	10	0	10	—			—			13	0	13
	博士前期課程	看護学専攻	16	32	0	7	7	4	16	20	—			—			4	23	27
		薬科学専攻	35	70	36	16	52	31	28	59	—			—			67	44	111
		小計	51	102	36	23	59	35	44	79	—			—			71	67	138
	博士後期課程	看護学専攻	3	9	2	1	3	0	4	4	3	10	13	—			5	15	20
		薬科学専攻	8	24	6	3	9	6	3	9	7	14	21	—			19	20	39
		小計	11	33	8	4	12	6	7	13	10	24	34	—			24	35	59
	博士課程	生命・臨床医学専攻	18	72	12	8	20	18	4	22	11	3	14	22	9	31	63	24	87
		東西統合医学専攻	7	28	3	1	4	0	2	2	3	2	5	2	3	5	8	8	16
		薬学専攻	4	16	0	0	0	2	0	2	0	1	1	1	0	1	3	1	4
		小計	29	116	15	9	24	20	6	26	14	6	20	25	12	37	74	33	107
		計	106	281	62	36	98	71	57	128	24	30	54	25	12	37	182	135	317
理工学教育部	修士課程	数学専攻	8	16	5	0	5	7	1	8	—			—			12	1	13
		物理学専攻	12	24	7	2	9	13	3	16	—			—			20	5	25
		化学専攻	12	24	11	2	13	15	3	18	—			—			26	5	31
		生物学専攻	12	24	13	2	15	8	7	15	—			—			21	9	30
		地球科学専攻	10	20	9	1	10	7	5	12	—			—			16	6	22
		生物圏環境科学専攻	10	20	7	2	9	4	5	9	—			—			11	7	18
		電気電子システム工学専攻	33	66	35	1	36	46	0	46	—			—			81	1	82
		知能情報工学専攻	27	54	27	4	31	35	4	39	—			—			62	8	70
		機械知能システム工学専攻	33	66	47	6	53	41	2	43	—			—			88	8	96
		生命工学専攻	18	36	11	13	24	23	8	31	—			—			34	21	55
		環境応用化学専攻	22	44	22	2	24	16	6	22	—			—			38	8	46
	材料機能工学専攻	20	40	29	0	29	23	2	25	—			—			52	2	54	
		小計	217	434	223	35	258	238	46	284	—			—			461	81	542
	博士課程	数理・ヒューマンシステム科学専攻	5	15	7	5	12	2	2	4	5	2	7	—			14	9	23
		ナノ新機能物質科学専攻	4	12	6	0	6	6	3	9	6	2	8	—			18	5	23
		新エネルギー科学専攻	3	9	1	1	2	7	0	7	0	1	1	—			8	2	10
		地球生命環境科学専攻	4	12	1	1	2	5	0	5	2	3	5	—			8	4	12
	小計	16	48	15	7	22	20	5	25	13	8	21	—			48	20	68	
	計	233	482	238	42	280	258	51	309	13	8	21	—			509	101	610	
教職実践開発研究科	専門職学位課程	教職実践開発専攻	14	28	8	5	13	8	5	13	—			—			16	10	26
		計	14	28	8	5	13	8	5	13	—			—			16	10	26
大学院(2年制)小計			343	686	289	89	378	328	118	446	—			—			617	207	824
大学院(3年制)小計			35	105	26	12	38	31	12	43	27	34	61	—			84	58	142
大学院(4年制)小計			38	152	17	12	29	27	8	35	18	8	26	34	14	48	96	42	138
合計			416	943	332	113	445	386	138	524	45	42	87	34	14	48	797	307	1,104

外国人留学生数

令和2年5月1日現在

区分	国費			県費			外国政府			私費			合計			
	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	正規生	非正規生	計	
学部	人文学部		3	3		2	2				10	7	17	10	12	22
	人間発達科学部		4	4				1		1	4	4	8	5	8	13
	経済学部							2		2	6	5	11	8	5	13
	理学部										1		1	1		1
	医学部															
	薬学部															
	工学部							12		12	23	9	32	35	9	44
	芸術文化学部	2		2							3	1	4	5	1	6
	都市デザイン学部										7		7	7		7
	小計	2	7	9	0	2	2	15	0	15	54	26	80	71	35	106
大学院修士課程・博士前期課程	人文科学研究科					1	1				7	4	11	7	5	12
	人間発達科学研究科		1	1						2	2	4	2	3	5	
	経済学研究科									28	2	30	28	2	30	
	医学薬学教育部	1		1	2		2			13	2	15	16	2	18	
	理工学教育部(理学系)									8		8	8		8	
	理工学教育部(工学系)				4		4			27		27	31		31	
	芸術文化学研究科									7		7	7		7	
	小計	1	1	2	6	1	7	0	0	0	92	10	102	99	12	111
大学院博士課程・博士後期課程	医学薬学教育部	4		4						36		36	40		40	
	生命融合科学教育部(五福)	2		2						2		2	4		4	
	生命融合科学教育部(杉谷)	2		2						14		14	16		16	
	理工学教育部(理学系)	1		1						3		3	4		4	
	理工学教育部(工学系)	2		2						29	1	30	31	1	32	
	小計	11	0	11	0	0	0	0	0	0	84	1	85	95	1	96
和漢医薬学総合研究所																
合計	14	8	22	6	3	9	15	0	15	230	37	267	265	48	313	

国・地域別外国人留学生数

国・地域名	種別				計
	国費	県費	外国政府	私費	
中国	2	1		186	189
ベトナム	2	3		29	34
マレーシア	1	1	15	7	24
エジプト				9	9
韓国				7	7
パキスタン	1			6	7
インド		1		5	6
インドネシア	2			4	6
バングラデシュ	3			2	5
ブラジル	4	1			5
タイ	1	1		2	4
ロシア	1	1		2	4
イラン				2	2

国・地域名	種別				計
	国費	県費	外国政府	私費	
ミャンマー	1			1	2
ラオス				2	2
英国	1				1
シンガポール				1	1
台湾				1	1
チェコ	1				1
トルコ	1				1
ネパール				1	1
モンゴル	1				1
計	22	9	15	267	313

令和元年度卒業・修了者の進路状況

令和2年5月1日現在

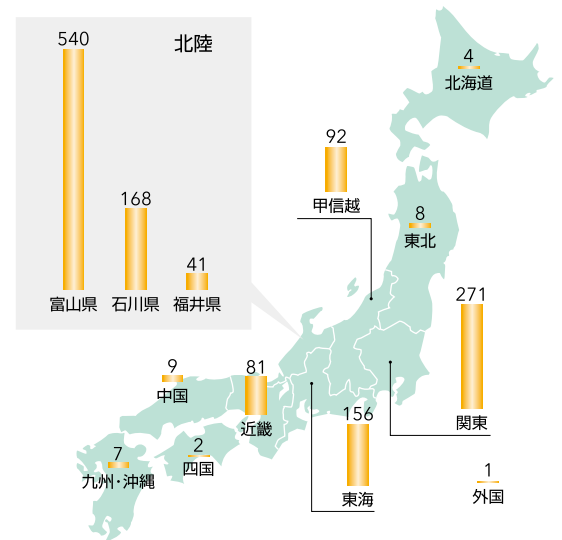
学部

学 部	卒業者数	就職者数	進学者数		その他 (注2)
			大学院(注1)	その他	
人文学部	189	165	5 (2)	1	15
人間発達科学部	171	155	14 (9)		1
経済学部	423	386	3 (1)	1	26
理学部	217	121	78 (59)	1	15
医学部	187	181	2 (1)	4	
薬学部	104	52	49 (46)	2	1
工学部	408	208	188 (178)	4	8
芸術文化学部	126	112	3 (2)	1	9
合 計	1,825	1,380	342 (298)	14	75

(注1) ()内の数字は、富山大学大学院への進学者で内数。
(注2) その他欄には有職者を含む。

地域別就職状況(学部)

学 部	地 方										合計			
	北海道	東北	関東	甲信越	東海・北陸				近畿	中国		四国	九州・沖縄	外国
					富山県	石川県	福井県	東海						
人文学部		2	17	12	76	30	7	10	8	1	1	1	165	
人間発達科学部		1	24	9	65	35	6	9	6				155	
経済学部		2	75	30	156	53	15	39	12	2		2	386	
理学部			34	4	41	11	2	22	4	2		1	121	
医学部		1	27	16	99	3	4	11	15	3		2	181	
薬学部	1	2	17	7	10	1		8	5			1	52	
工学部	2		40	9	66	24	4	47	14	1			208	
芸術文化学部	1		37	5	27	11	3	10	17		1		112	
合 計	4	8	271	92	540	168	41	156	81	9	2	7	1,380	
割合(%)	0.3	0.6	19.6	6.7	39.1	12.2	3.0	11.3	5.9	0.7	0.1	0.5	100.0	
					65.6									



業種別就職状況(学部)

業 種	学 部			人文学部			人間発達科学部			経済学部			理学部			医学部			薬学部			工学部			芸術文化学部			合 計			割合(%)
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
農業、林業										1	1											1	1	2	0.1						
漁業																									0	0	0	0.0			
鉱業、採石業、砂利採取業																									0	0	0	0.0			
建設業		3	7	10		1	1	17	8	25	5	1	6									5	1	6	4	11	15	34	29	63	4.6
製造業		6	13	19	7	7	14	41	19	60	16	17	33				5	2	7	105	25	130	6	26	32	186	109	295	21.4		
電気・ガス・熱供給・水道業		1		1		1	1	2	1	3	1		1									9		9				13	2	15	1.1
情報通信業		5	15	20	5	5	10	26	26	52	13	5	18									30	7	37	1	11	12	80	69	149	10.8
運輸業、郵便業		2	5	7				7	3	10		1	1									1		1				10	9	19	1.4
卸売業、小売業		2	17	19	6	3	9	28	26	54	3	5	8				14	19	33	2	2	1	14	15	56	84	140	10.1			
金融業、保険業		3	7	10	1		1	17	20	37	1		1									1		1			23	27	50	3.6	
不動産業、物品賃貸業		1		1	1	1	2	5	4	9	2		2											1	2	3	10	7	17	1.2	
学術研究、専門・技術サービス業		1	4	5		1	1	10	9	19	4	1	5									5		5	2	10	12	22	25	47	3.4
宿泊業、飲食サービス業		1	4	5	1		1	5	5	10	2		2										1	1	1	1	2	10	11	21	1.5
生活関連サービス業、娯楽業		1	2	3	3	1	4	4	3	7	1	1	2														9	7	16	1.2	
教育、学習支援業		6	6	12	25	35	60	4	1	5	18	4	22									1		1	1	4	5	55	50	105	7.6
医療、福祉		1	10	11	1	12	13	2	5	7						71	105	176	5	5	10				1	1	2	81	138	219	15.9
複合サービス事業			1	1		2	2	3	5	8	1	2	3														4	10	14	1.0	
サービス業		4	4	8	2	9	11	8	8	16	5	1	6				1	1	6	3	9	3	3	6	28	29	57	4.1			
公務		10	23	33	10	15	25	42	21	63	8	3	11			5	5	1		1	4	1	5	3	5	8	78	73	151	10.9	
合 計		47	118	165	62	93	155	221	165	386	80	41	121	71	110	181	25	27	52	170	38	208	24	88	112	700	680	1,380	100.0		

大学教育再生戦略推進費等採択状況

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

採択年度	取組名称	連携大学
平成29年(～令和3年)	超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成	富山大学、金沢大学、信州大学 福井大学、金沢医科大学、 石川県立看護大学

※ 申請担当 金沢大学

医療データ人材育成拠点形成事業

採択年度	取組名称	連携大学
令和元年(～令和5年)	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業	富山大学、東京大学、 筑波大学、自治医科大学

※ 代表校 東京大学

課題解決型高度医療人材養成プログラム

採択年度	取組名称	連携大学
令和元年(～令和3年)	北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン	富山大学、福井大学、金沢大学

※ 申請担当 福井大学

数理・データサイエンス・AI教育の全国展開

採択年度	取組名称	連携大学
令和2年(～令和3年)	数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の 大学連携による地域への普及	富山大学、金沢大学、福井大学

※ 事業総括 富山大学

寄附講座・寄附研究部門

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
医学部 (大学院医学薬学研究部)	富山プライマリ・ケア講座	平成25年10月 1日～ 令和 5年 3月31日	まちなか診療所(機能強化型在宅療養支援診療所)を運営する中で、都市型の地域包括ケアシステムを構築するために、市の地域医療と在宅医療の実態調査および地域医療や在宅医療の担い手となる医師養成に関する研究、教育や研修指導體制の充実・強化を図る。
薬学部 (大学院医学薬学研究部)	製剤設計学講座	平成27年 4月 1日～ 令和 7年 3月31日	製剤設計学講座は富山県の製薬産業を牽引する先導的な研究拠点として、製剤開発に関する最先端研究を推進し、地域のさらなる活性化に貢献する。また、基礎科学と実学が融合した卓越した研究プロジェクトを通して、富山県の医薬品業界を担う有能で魅力的な製剤研究者・技術者の養成に努める。
附属病院	地域医療総合支援学講座	平成29年 4月 1日～ 令和 5年 3月31日	富山県内で活躍する医師のキャリアアップ及び人材育成支援を推進するとともに、専門医資格取得のための支援体制を確立し、富山県の医療を充実させ、質の向上を図る。また、県内の地域医療に関する課題を検証し、公的病院が抱える医師偏在の状況を把握し、医療派遣問題の解決に向け調査・研究を行う。
附属病院	南砺・地域医療支援学講座	平成30年 4月 1日～ 令和 4年 3月31日	南砺地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、南砺地域における臨床研修医に対する研修体制及び研究環境の整備・充実を図り、専門医及び総合医の育成を図るための育成教育プログラムを作成し、南砺市民病院においてプログラムに基づく人材育成を行う。
附属病院	朝日・地域医療支援学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 4年 3月31日	朝日地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、朝日地域における臨床研修医に対する研修体制及び研究環境の整備・充実を図り、専門医及び総合医の育成を図るための育成教育プログラムを作成し、あさひ総合病院においてプログラムに基づく人材育成を行う。
附属病院	糸魚川・地域医療支援学講座	平成31年 4月 1日～ 令和 4年 3月31日	糸魚川地域で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することを目的とし、糸魚川総合病院における診療体制の充実を図り、上越地域における臨床研修医に対する研修体制、研究環境の整備・充実、専門医及び総合医の育成を図る。
医学部	消化器がん診断・治療学推進講座	令和2年 4月 1日～ 令和4年 3月31日	消化器がん診療、特に内視鏡・超音波・血管カテーテル等を用いた低侵襲治療、薬物療法における高度な専門知識・技術の地域間格差を解消するために、地域拠点病院における診療の指導を行い、さらに新たな診断・治療の開発を目指すことを目的とする。
医学部	臨床生体材料応用講座	令和2年 4月 1日～ 令和4年 3月31日	再生医学講座で開発を進めてきた羊膜を利用した医療機器や羊膜由来細胞の実用化にむけた技術開発を行い、新たな再生医療材料の普及に大きく寄与することを目的とする。

共同研究講座

設置部局名	講座・研究部門名	設置期間	教育研究の概要
工学部 (大学院理工学研究部)	先端電力システム (北陸電力)共同研究講座	平成31年 4月 1日～ 令和 4年 3月31日	電力系統工学の諸課題の研究並びに電力系統工学に通じた人材の育成を図るため、電力系統工学の理論、計画・運用する理論並びに解析手法理論及び再生可能エネルギーの大量普及を可能とする電力系統対策に関する研究を行う。

附属病院診療実績

(1) 患者数

単位:人

区分 年度	入院患者数		病床稼働率 (612床)	外来患者数		救急患者数			
	年間(延数)	1日平均		年間(延数)	1日平均	年間(延数)	1次救急	2次救急	3次救急
平成29年度	185,779	509.0	83.17%	303,854	1,250.4	4,148	2,217	1,305	626
平成30年度	183,854	503.7	82.31%	315,953	1,300.2	4,350	2,315	1,277	758
令和元年度	180,299	492.6	80.51%	323,856	1,355.1	4,314	2,294	1,352	668

※平成29年度より救急患者数の集計方法を変更

(2) 地域別入院及び外来患者数

新入院患者数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
平成29年度	10,730	154	484	468	4	148	11,988
平成30年度	11,375	188	540	582	6	177	12,868
令和元年度	11,799	198	549	510	3	183	13,242

外来患者延数

単位:人

区分 年度	富山県	石川県	新潟県	岐阜県	長野県	その他	合計
平成29年度	286,778	3,127	5,597	6,261	107	1,984	303,854
平成30年度	297,156	3,517	6,016	6,872	97	2,295	315,953
令和元年度	305,280	3,790	5,879	6,673	115	2,119	323,856

(3) 手術及び麻酔件数

(手術部手術室で行った件数) 単位:件

区分 年度	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
平成29年度	174	656	321	935	596	372	3,358	6,412	5,060	5,326	10,386
平成30年度	169	690	392	1,025	1,238	583	3,679	7,776	5,087	6,704	11,791
令和元年度	165	636	365	968	1,314	581	3,666	7,695	4,847	7,097	11,944

(4) 分娩件数

単位:人

区分 年度	正常分娩		異常分娩		計
	成熟児	低出生体重児	成熟児	低出生体重児	
平成29年度	168	22	95	92	377
平成30年度	161	22	138	71	392
令和元年度	156	28	105	79	368

※低出生体重児 2,500g未満

(5) 処方箋発行枚数

単位:枚

区分 年度	入院	外来		計	院外処方箋 発行率 B/(A+B)%
		院内 A	院外 B		
平成29年度	90,257	12,330	145,885	248,472	92.21%
平成30年度	93,336	12,134	148,033	253,503	92.42%
令和元年度	91,791	11,784	150,604	254,179	92.74%

(6) 画像診断件数

単位:件

区分 年度	CT			MRI			PET		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
平成29年度	7,006	14,881	21,887	2,609	6,667	9,276	110	1,285	1,395
平成30年度	7,792	16,451	24,243	2,899	7,085	9,984	64	1,091	1,155
令和元年度	6,629	17,816	24,445	2,756	7,420	10,176	62	1,527	1,589

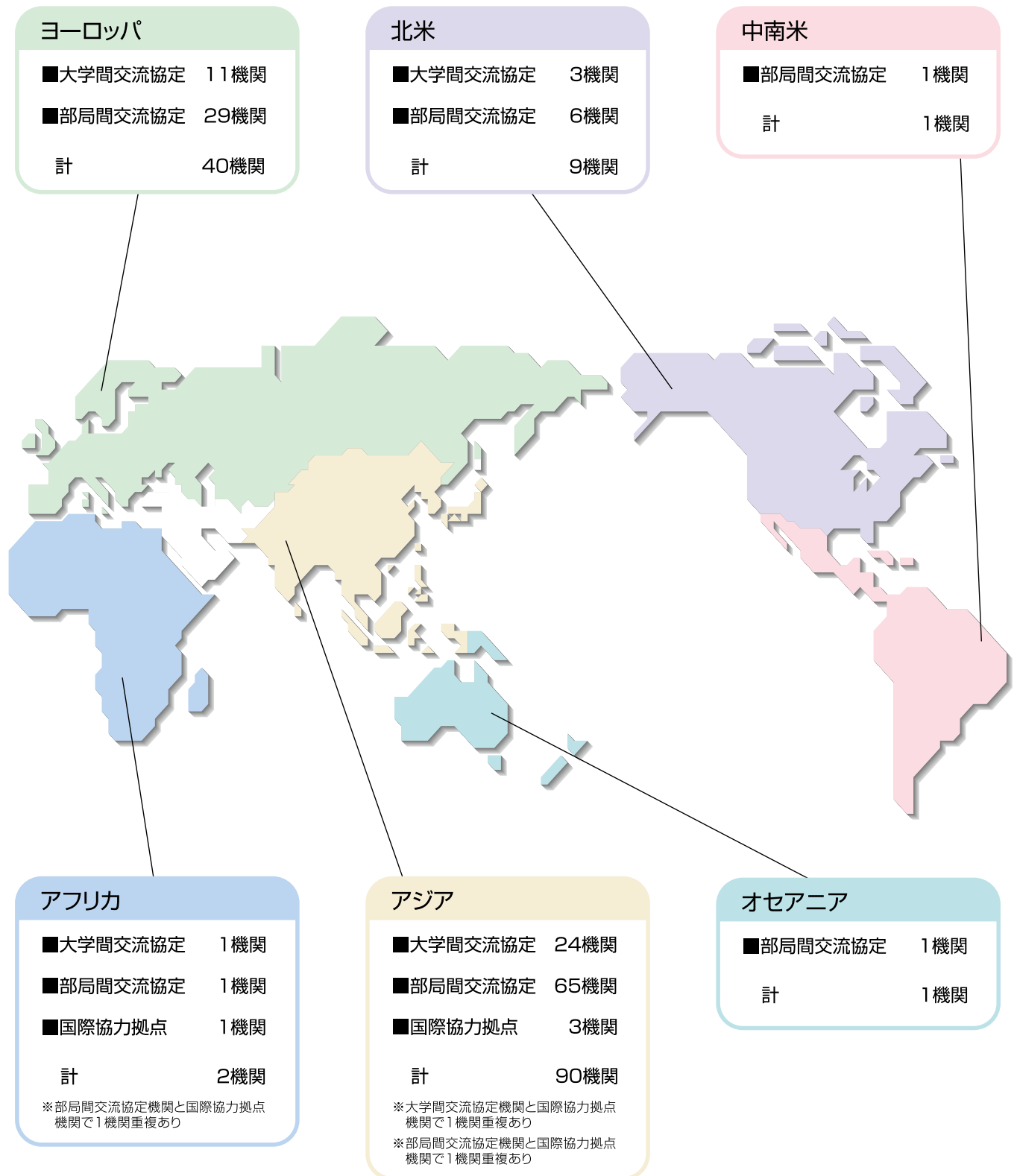
(7) 紹介患者数

単位:人

区分 年度	初診患者数	書面による紹介患者数		その他		緊急用自動車によって 搬入された 紹介患者数	書面による他の医療 機関への紹介患者数		紹介率	逆紹介率	
		病院からの 紹介	診療所(医院) からの紹介	電話情報及び 医師の名刺等 による紹介	精密検査を 必要とし書面 による紹介		うち、 初診の患者	病院への紹介			診療所(医院) への紹介
平成29年度	12,995	4,240	4,675	0	650	1,693	822	3,784	4,547	79.93%	64.11%
平成30年度	14,298	5,085	5,015	0	541	1,848	1,123	4,001	4,565	82.27%	59.91%
令和元年度	14,388	4,992	5,252	0	563	1,674	1,019	4,374	5,408	82.19%	67.99%

国際交流

■大学間交流協定	16カ国・地域39機関		
■部局間交流協定	28カ国・地域103機関		
■国際協力拠点	3カ国 4機関	総数	32カ国143機関



大学間交流協定 (16カ国・地域39機関39協定)

国・地域名	大学等名	協定年月日	国・地域名	大学等名	協定年月日
インドネシア	ハサヌディン大学	2002.3.27 (2012.7.5 再締結)	中国	内蒙古医科大学	2001.7.20 (2012.7.25 再締結)
韓国	大邱韓医大学校	2004.10.7		山東大学	2002.4.1 (2016.9.8 再締結)
	国民大学校	2005.3.7		上海大学	2002.6.28 (2017.11.2 再締結)
	江原大学校	2016.12.16		東北大学	2005.9.12
	慶北大学校	2017.3.14	軍医大学	2011.10.24	
タイ	チュラロンコン大学	2001.3.30 (2008.3.28 再締結)	ベトナム	ハノイ工科大学	2017.2.27
	マヒドン大学	2001.7.30 (2012.10.30 再締結)	マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2016.2.1
	チェンマイ大学	2015.11.17	エジプト	アシュート大学	2003.2.2 (2008.7.19 再締結)
台湾	国立政治大学	2014.4.14	アメリカ合衆国	マーレイ州立大学	2005.9.20
	銘傳大学	2015.3.21		ハワイ大学マウイカレッジ	2014.5.27
	国立中央大学	2016.10.19		チャールストンカレッジ	2017.2.20
中国	遼寧大学	1984.5.9	スイス	バーゼル大学	2018.3.20
	瀋陽薬科大学	1985.5.10 (2011.11.10 再締結)	スロバキア	ジリナ大学	2015.10.20
	中日友好医院	1986.5.7 (2012.12.7 再締結)	ノルウェー	コシツエ工科大学	2015.11.19
	北京大学医学部	1998.1.23		UiTノルウェー北極大学	2016.2.11
	大連理工大学	1999.11.11 (2004.10.18 再締結)	ノルウェー科学技術大学	2019.2.26	
	蘭州大学	1999.11.12 (2004.10.9 再締結)	フィンランド	LAB応用科学大学	1997.11.5 (2008.3.25 再締結)
	フランス	オルレアン大学	2015.3.4	ポーランド	AGH科学技術大学
ストラスブール大学		2019.3.25	ロシア	極東連邦大学	2001.12.10
ロシア	ノヴォシビルスク大学	2017.10.16			

部局間交流協定 (28カ国・地域103機関103協定)

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
人文学部	中国	佳木斯大学外国語学院	2014.6.19
	ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	2015.12.22
		ベトナム社会科学院漢喃研究院	2017.3.1
	ロシア	モスクワ言語大学	2013.3.22
人間発達科学部	インドネシア	ウダヤナ大学文化学部	2007.8.22
		ピナ・ヌサンタラ大学人文学部	2007.10.15
	タイ	コンケン大学教育学部	2015.2.18
	オランダ	ライデン大学人文学部	2016.12.15
	スペイン	マドリッド自治大学教育学部	2017.9.15
	ロシア	ウラジオストク・ネヴェリスキー海事国立大学	2003.3.27
人間発達科学部附属小学校	韓国	ソウル慶熙大学校併設初等学校	2004.3.22
	中国	大連海事大学附属学校	2005.3.22
人間発達科学部附属中学校	中国	遼寧省阜新市実験中学校	2001.8.2
経済学部	韓国	国立釜山大学校スクール・オブ・ビジネス及び経営特殊大学院	2014.10.17 (2019.11.22 再締結)
		京畿大学校経商学部	2016.4.19
		京畿大学校人文社会学部	2016.4.19
	台湾	開南大学商学院	2013.6.25
		開南大学人文社会学院	2013.6.25
	中国	中国人民大学公共管理学院	1996.12.10 (2004.10.9 再締結)
		西南交通大学交通運輸与物流学院	2007.8.20 (2011.10.30 修正)

国際交流

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
経済学部	中国	中南林業科技大学経済学院	2009.6.25 (2011.2.11 修正)
		南開大学日本研究院	2013.3.15
		内蒙古大学経済管理学院	2013.8.1
		中南林業科技大学商学院	2016.11.28
理学部	インドネシア	パランカラヤ大学農学部	2013.7.31
	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校農業技術学部	2019.7.24
	バングラデシュ	ジャハンギルナガル大学数物系科学部	2013.4.2
	マレーシア	モナッシュ大学医学健康科学部	2016.7.20
	イタリア	カメリーノ大学理工学部	2019.12.23
	チェコ	西ボヘミア大学新技術研究センター	2019.9.27
	ドイツ	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン 化学・薬学部化学科	2018.11.16
	フランス	レンヌ第一大学物質構造物性学部	2018.11.27
医学部	韓国	忠南大学校医科大学	2006.1.12 (2011.5.9 再締結)
		亜州大学医学部・大学院	2007.10.24
	中国	重慶医科大学	2006.3.15 (2016.12.10 再締結)
		河北医科大学	2010.7.8 (2015.7.8 再締結)
		ハルビン医科大学	2011.5.13 (2016.12.20 再締結)
		威海市立病院	2019.11.28
	ベトナム	ハノイ医科大学	2013.6.27 (2019.2.15 再締結)
	モンゴル	モンゴル国立医科大学	2010.6.7 (2015.6.7 再締結)
	ブラジル	ブラジリア大学生物学研究所	2010.11.15 (2015.10.21 再締結)
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校ジョンA.バーンズ医学部	2011.11.16 (2019.2.27 再締結)
	カナダ	アルバータ大学医・歯学部	2011.9.20
	英国	ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ「社会と健康」国際研究センター	2004.9.8
ドイツ	ルール大学ボーフム医学部附属バートユーンハウゼン心臓・糖尿病センター胸部・心臓血管外科	2014.8.26	
薬学部	韓国	慶熙大学校薬学大学	2012.2.10
	マレーシア	マラヤ大学医学部薬学科	2018.1.19
	アメリカ合衆国	南カリフォルニア大学薬学部	2000.4 (2016.10.21 再締結)
		アメリカ健康科学大学薬学部	2020.2.4
	アイルランド	ダブリン大学トリニティカレッジ薬学部	2010.6.28
工学部	中国	大連交通大学	2005.2.25
		西南交通大学牽引動力国家重点実験室	2005.2.25
	バングラデシュ	ラジシャヒ工科大学	2018.2.28
	マレーシア	マラ工科大学機械工学部	2013.2.22
		トゥン フセイン オン マレーシア大学電気電子工学部	2018.5.11
	アメリカ合衆国	バージニア大学工学・応用科学部	1999.12.8 (2004.6.23 再締結)
	アルバニア	ティラナ工科大学機械工学部	2013.2.15
	チェコ	チェコ共和国科学アカデミー科学機器研究所	2003.11.10
	ポーランド	ワルシャワ工科大学電子情報工学部	2015.10.26
ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部自動制御プロセス研究所	2003.12.22	
芸術文化学部	タイ	パタナシン芸術大学	2012.1.19
	スウェーデン	カペラゴーデン美術工芸学校	2009.5.20 (2012.9.25 修正)
	チェコ	プラハ美術工芸大学	2008.12.15 (2012.8.8 修正)
都市デザイン学部	中国	石油大学(北京)理学院	2015.1.20
		昌吉学院物理系	2016.7.26
	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ大学キャンベラキャンパスオーストラリア防衛大学校理学部	2002.12.2 (2012.10.23 再締結)
	アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター	2019.3.18
	イタリア	トリノ工科大学	2019.10.28
	オーストリア	ウィーン工科大学土木工学部	2019.10.30
	ポーランド	ポーランド科学アカデミー冶金・材料科学研究所	2013.9.23
ヴロツワフ科学技術大学環境工学部		2016.11.21	

学部等名	国・地域名	大学等名	協定年月日
和漢医薬学総合研究所	韓国	ソウル大学校薬学大学天然物科学研究所	1998.10.1 (2016.11.8 再締結)
		韓医学研究院	2017.2.6
		世明大学校保健バイオ大学	2019.4.23
	タイ	コンケン大学薬学部	2003.11.14 (2016.5.20 再締結)
		ウボンラーチャタニ大学薬学部	2017.1.25
	台湾	国立嘉義大学生命科学院	2016.5.19
	中国	南京中医薬大学薬学院	2002.10.27 (2012.8.16 再締結)
		広西中医薬大学薬学院	2018.5.15
	ベトナム	国立薬物研究所	2009.10.27 (2014.11.7 再締結)
		フエ大学医学薬学部	2014.6.3
		ホーチミン医科薬科大学伝統医学部	2018.7.9
		カントー大学自然科学部	2018.8.27
	ミャンマー	ヤンゴン大学化学部	2016.2.15
		保健・スポーツ省伝統医療局	2016.11.15
	モンゴル	モンゴル国立大学応用科学工学部	2004.3.30 (2012.9.21 再締結)
	エジプト	カイロ大学薬学部	2001.6.18 (2011.4.27 再締結)
極東地域研究センター	中国	吉林大学東北アジア研究院	2003.6.18
		中国農業大学経済管理学院	2003.7.1
		中国科学院江西省千煙州紅壤丘陵総合開発試験站	2004.2.20
		吉林農業大学経済管理学院	2004.3.1
		復旦大学中国社会主義市場経済研究センター	2005.6.12
		東北財経大学 経済・社会発展研究院	2006.6.15
		中国科学院長白山森林生態系研究ステーション	2007.2.8
	ロシア	ロシア科学アカデミーシベリア支部経済工業生産組織研究所	2003.7.3
		ハカシア国立大学	2003.10.29
		ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所	2004.7.9
		ロシア科学アカデミー社会政治研究所社会人口学・経済社会学センター	2010.3.16
		極東国立農業大学	2011.7.15
		ロシア科学アカデミー極東支部地質・自然管理研究所	2012.8.17
		サンクトペテルブルク国立経済大学グレーターユーラシア研究所	2019.2.27
水素同位体科学研究センター	韓国	国立核融合研究所韓国 ITER 機構	2014.11.17 (2019.10.29 再締結)
	ロシア	サンクトペテルブルク・ボンシェブリイエビッチ通信大学	2002.12.18

国際協力拠点 (3カ国4機関4拠点)

拠点レベル	相手国	拠点名称	相手機関	締結年月日
富山大学	タイ	富山大学・チュラロンコン大学薬学部:天然薬物における国際協力拠点	チュラロンコン大学薬学部	2010.12.7
		チュラロンコン大学薬学部・富山大学:天然薬物における国際協力拠点		
富山大学	中国	富山大学・北京大学医学部薬用資源研究国際協力センター	北京大学医学部	2005.2.25 (2015.2.25 再締結)
和漢医薬学総合研究所		北京大学医学部・富山大学薬用資源研究国際合作中心		
和漢医薬学総合研究所	中国	富山大学和漢医薬学総合研究所・南京中医薬大学薬学院:国際協力拠点	南京中医薬大学薬学院	2006.11.4 (2012.8.16 再締結)
		南京中医薬大学薬学院・富山大学和漢医薬学総合研究所:国際協力拠点		
和漢医薬学総合研究所	エジプト	富山大学和漢医薬学総合研究所・カイロ大学薬学部:国際協力拠点オフィス	カイロ大学薬学部	2011.4.27
		カイロ大学薬学部・富山大学和漢医薬学総合研究所:国際協力拠点オフィス		

自治体等との連携協力に関する協定

全学協定

自治体

相手	名称	締結年月日
富山県	富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定	平成17年11月1日
富山市	富山市新産業支援事業に関する協定	平成18年6月29日
富山市	富山市と国立大学法人富山大学との連携協力に関する包括協定	平成20年10月21日
魚津市	魚津市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年10月27日
高岡市	高岡市と富山大学との連携協力に関する包括協定	平成23年11月28日

金融機関

相手	名称	締結年月日
北陸銀行	国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年3月23日
富山第一銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山第一銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年12月1日
富山銀行	国立大学法人富山大学と株式会社富山銀行との包括的連携協力に関する覚書	平成17年12月1日
日本政策金融公庫 富山支店	産学連携の協力推進に係る協定	平成19年2月8日
高岡信用金庫	産学連携の協力推進に係る協定	平成20年2月21日

報道機関

相手	名称	締結年月日
(株)北日本新聞社	国立大学法人富山大学と株式会社北日本新聞社との包括連携協力に関する協定書	平成26年11月21日
富山テレビ放送(株)	国立大学法人富山大学と富山テレビ放送株式会社との包括連携協力に関する協定書	平成26年12月9日
(株)読売新聞東京本社	国立大学法人富山大学と株式会社読売新聞東京本社との包括連携協力に関する協定書	平成27年3月25日

その他

相手	名称	締結年月日
富山地方鉄道(株)	国立大学法人富山大学と富山地方鉄道(株)との地域交通振興に関する連携協定	平成24年9月21日
国土交通省北陸地方整備局	国立大学法人富山大学と国土交通省北陸地方整備局との連携・協力に関する協定	平成26年2月13日
国際ロータリー第2610地区	国立大学法人富山大学と国際ロータリー第2610地区との海外派遣事業に関する覚書	平成26年5月25日
東京大学宇宙線研究所	国立大学法人東京大学宇宙線研究所と国立大学法人富山大学との重力波研究推進のための覚書	令和2年4月6日

部局協定

相手	部局名	名称	締結年月日
WFP国連世界食糧計画日本事務所	人間発達科学部	WFP国連世界食糧計画日本事務所と国立大学法人富山大学人間発達科学部との連携協力に関する覚書	平成18年3月7日
富山県教育委員会	人間発達科学部	富山県教育委員会と国立大学法人富山大学人間発達科学部との連携協力に関する覚書	平成18年3月24日
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター	人間発達科学部	富山大学人間発達科学部と早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンターとの教育的社会貢献活動に関する協力協定	平成19年6月18日
高岡市	芸術文化学部	高岡市と国立大学法人富山大学芸術文化学部との連携に関する協定	平成19年11月9日

舟橋村	地域づくり・文化支援センター	富山県舟橋村と国立大学法人富山大学地域づくり・文化支援センターにおける地域づくりに関する協定	平成20年2月15日
氷見市	理学部	氷見市と国立大学法人富山大学理学部との連携に関する協定	平成23年3月30日
和歌山県田辺市	地域連携推進機構	田辺市と国立大学法人富山大学地域連携推進機構との人材育成連携に関する覚書	平成28年1月29日
舟橋村 西日本電信電話(株)富山支店 エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノジ(株)	地域連携推進機構	舟橋村における「ICT活用による子育てコミュニティづくり」に係る連携協力に関する覚書	平成28年6月30日
舟橋村 一般社団法人富山県緑化造園土木協会 一般社団法人日本造園建設業協会富山支部 一般社団法人日本造園組合連合会富山支部	地域連携推進機構	舟橋村における「公共空間の整備・利用による子育てコミュニティづくり」に係る連携協力に関する覚書	平成29年1月20日
学校法人荒井学園 魚津市	地域連携推進機構	新川創生プロジェクト「地域に残り、地域を支える若者育成」に係る連携協力に関する覚書	平成29年6月9日
南砺市	地域連携推進機構	“南砺で暮らしませんか!”プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成29年7月21日
中日本高速道路 株式会社金沢支社	地域連携推進機構	“沿道地域との連携による新たな価値創造”プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成29年9月6日
砺波市	人文学部	砺波市と富山大学人文学部との連携に関する協定書	平成29年11月21日
株式会社 能作 オタヤ開発 株式会社 株式会社 大和高岡店 高岡市デザイン・工芸センター	芸術文化学部	やさしい・いもの プロジェクトに係る連携協力に関する覚書	平成30年4月17日
独立行政法人水質資源機構 総合技術センター	都市デザイン学部	国立大学法人富山大学都市デザイン学部と独立行政法人水質資源機構総合技術センターの間における包括的な連携推進に関する協定書	平成30年6月25日

その他

相手	名称	締結年月日
モンゴル科学技術大学 名古屋大学 (株)ジオ・コミュニケーションズ	モンゴル国における地質構造・鉱床成因・自然環境解析、人材育成及び地質情報の基盤整備のための日本・モンゴル間の包括的な連携・協力に関する協定	平成23年6月16日

令和元年度公開講座等の実績

公開講座

多様なテーマと形態で
市民一般を対象に開催

ジャンル別講座数と受講者数

講座内容	教養	語学	体験	合計
講座数	24	16	15	55
受講者数	269	174	239	682



サテライト講座

市民一般が参加しやすいよう開催場所を富山駅前に移し、無料で開催

会場 富山駅前CiCビル3階学習室

定員 各講座80名程度

総受講者数(全8回分)	707名
平均受講者数	88.4名/回

オープン・クラス

富山大学が開設している
正規授業を市民一般に公開

公開授業科目数と受講者数

学期	前期	後期	合計
科目数	412	388	800
受講者数	120	122	242



財務状況

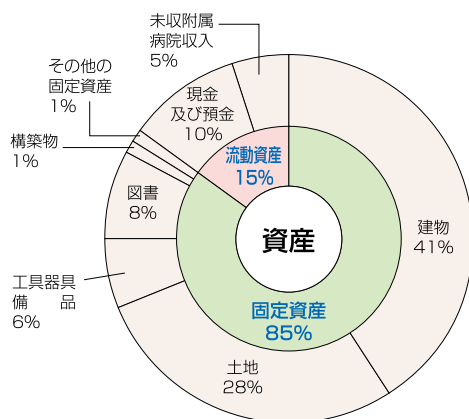
平成30事業年度 貸借対照表の概要

平成31年3月31日

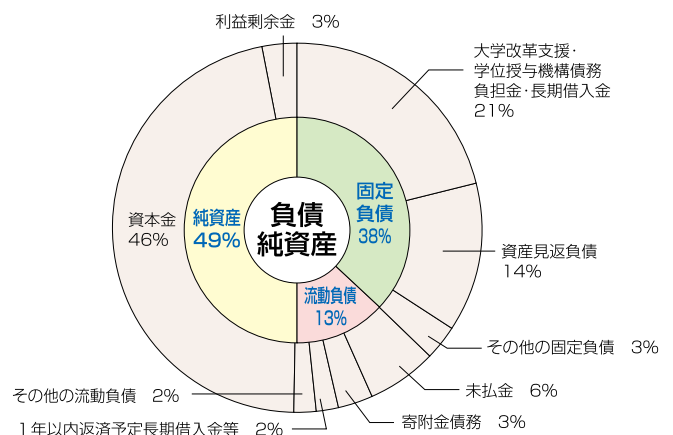
(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	68,932,772	固定負債	30,375,717
有形固定資産	68,181,173	資産見返負債	10,829,414
土地	22,591,767	長期リース債務	1,998,685
建物(建物附属設備を含む)	58,941,224	大学改革支援・学位授与機構債務負担金	484,007
減価償却累計額	△26,032,418	長期借入金	16,265,699
減損損失累計額	△1,012	退職給付引当金	418,689
構築物	3,531,369,065	その他の固定負債	379,220
減価償却累計額	△2,287,796	流動負債	10,522,781
減損損失累計額	△1,039	運営費交付金債務	286,035
工具器具備品	26,706,975	寄附金債務	2,623,472
減価償却累計額	△21,572,137	短期リース債務	943,391
図書	6,185,526	前受委託研究費	212,197
その他の有形固定資産	192,789	前受共同研究費	110,802
減価償却累計額	△74,073	前受受託事業費等	34,145
無形固定資産	45,968	預り金等	283,515
投資その他の資産	705,630	一年以内返済予定長期借入金等	1,391,314
流動資産	11,705,713	未払金	4,548,614
現金及び預金	7,705,651	その他の流動負債	89,293
未収学生納付金収入	38,493	負債合計	40,898,498
未収附属病院収入	3,636,901	資本金	39,953,982
徴収不能引当金	△29,476	政府出資金	39,953,982
その他未収入金	138,399	資本剰余金	△2,865,575
たな卸資産	13,798	資本剰余金	18,070,612
医薬品及び診療材料	190,156,432	損益外減価償却累計額(一)	△20,935,149
その他の流動資産	102,789	損益外減損損失累計額(一)	△1,039
資産合計	80,638,485	利益剰余金	2,651,580
		前中期目標期間繰越積立金	1,624,854
		目的積立金	72,040
		積立金	109,899
		当期末処分利益	844,784
		(うち当期総利益)	(844,784)
		純資産合計	39,739,987
		負債・純資産合計	80,638,485

■資産の科目別割合 資産総額 80,638,485千円



■負債・純資産の科目別割合 負債総額 40,898,498千円 純資産総額 39,739,987千円



平成30事業年度 損益計算書の概要

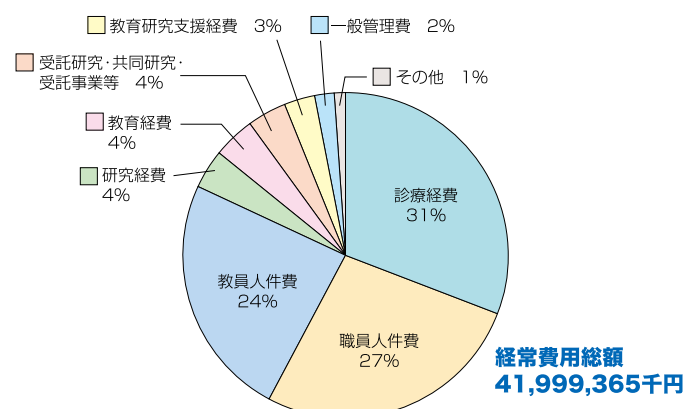
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

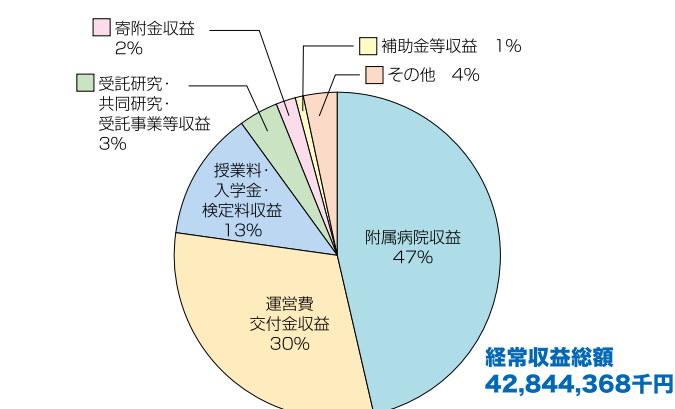
費用	
科目	金額
経常費用	41,999,365
業務費	40,950,923
教育経費	1,845,693
研究経費	1,552,918
診療経費	13,019,450
教育研究支援経費	1,189,981
受託研究費	760,134
共同研究費	184,129
受託事業費等	571,663
役員人件費	315,361
教員人件費	10,236,764
職員人件費	11,274,826
一般管理費	910,185
財務費用	137,177
雑損	1,078
臨時損失	5,859
固定資産除却損	2,607
災害損失	1,938
環境対策引当金繰入額	789
その他の臨時損失	524
当期総利益	844,784
合計	42,850,010

収益	
科目	金額
経常収益	42,844,368
運営費交付金収益	13,067,822
授業料収益	4,536,612
入学金収益	664,425
検定料収益	183,742
附属病院収益	20,239,887
受託研究収益	763,246
共同研究収益	186,345
受託事業等収益	571,693
施設費収益	136,849
補助金等収益	198,701
寄附金収益	753,455
資産見返負債戻入	1,047,762
雑益	493,823
臨時利益	5,641
固定資産除却に伴う資産見返負債戻入	2,564
保険金収益	3,077
目的積立金取崩額	-
合計	42,850,010

■経常費用の科目別割合



■経常収益の科目別割合



令和元年度 科学研究費助成事業(科研費)等の受入状況

科学研究費助成事業(科研費)

令和2年3月現在

研究種目	平成30年度		令和元年度	
	採択件数*	交付金額(千円)**	採択件数*	交付金額(千円)**
特別推進研究	1	100,100	1	141,830
新学術領域研究	11	47,190	12	49,010
基盤研究(S)	0	0	0	0
基盤研究(A)	2	34,580	3	20,529
基盤研究(B)	39	199,290	40	187,460
基盤研究(C)	232	322,121	248	317,400
挑戦的萌芽研究	6	5,590	—	—
挑戦的研究	12	31,460	14	28,600
若手研究(A)	1	3,770	—	—
若手研究(B)	28	35,745	11	8,665
若手研究	24	43,940	51	78,134
研究活動スタート支援	6	8,060	7	9,931
特別研究員奨励費	10	9,276	7	8,090
国際共同研究強化	5	11,440	6	16,510
合 計	377	852,562	400	866,159

※継続課題含む。
 ※※間接経費含む。

共同研究・寄附金・受託研究費

令和2年3月現在

区 分	平成30年度		令和元年度	
	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)
民間等との共同研究	240	230,049	250	242,773
寄附金	1,047	799,003	927	704,706
受託研究費	181	1,019,377	178	744,096
合 計	1,468	2,048,429	1,355	1,691,575

学生の厚生施設

学生会館

室名	面積 (m ²)	収容人員 (人)	用途
ラウンジ	574	137	休憩・談話・キャンパスコンビニ・その他
ホール	318	156	講演・演奏・その他
多目的利用室 No.3-5	90	36	集会
和室	40	15	茶道・華道等
課外活動室A	30	—	課外活動
課外活動室B	30	—	課外活動
印刷室	7	—	印刷

食堂等

名称	室名	面積 (m ²)	名称	室名	面積 (m ²)
五福キャンパス (大学食堂)	食堂	1,311	(学生支援・地域 連携交流プラザ)	カフェラウンジ	269
	購買・書籍部	404			
	理髪室	46			
	事務室・その他	579			
(第2大学食堂) ※工学部構内	食堂	657	杉谷キャンパス	食堂・売店	916
	購買・書籍部	184		理容室	30
	談話コーナー	35		談話室	155
	事務室・その他	425	高岡キャンパス	食堂・売店	203

学生寮

名称	所在地	入寮定員 (人)		
新樹寮	富山市寺町2639-1	A棟	SIタイプ:約13m ²	95
		B棟		51
		C棟		59
		D棟		67
		E棟	SIIタイプ:約20m ²	30
			DIタイプ:約25m ²	6



▲学生会館



▲学生寮

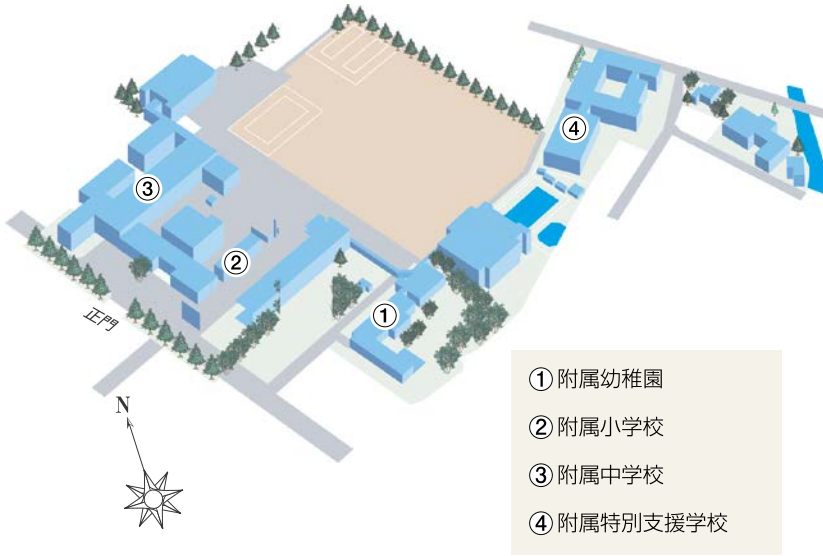
土地・建物、部局等所在地

区分	棟名称	土地 (m ²)	建物面積 (m ²)	所在地
五福キャンパス	共通教育棟 (A棟)	231,456	3,150	富山市五福
	理学部1号館		10,490	
	総合情報基盤センター		2,301	
	理学部2号館		9,134	
	放射性同位元素総合実験室		336	
	人間発達科学部第1棟		3,800	
	人間発達科学部第2棟		3,553	
	人間発達科学部第4棟		776	
	人間発達科学部第5棟		642	
	共通教育棟 (C棟)		1,504	
	共通教育棟 (D棟)		779	
	保健管理センター・事務局		1,311	
	武道場		554	
	第1体育館		1,322	
	学生会館		2,509	
	水素同位体科学研究センター		2,365	
	中央図書館		9,470	
	大学食堂		2,340	
	人間発達科学部第3棟		3,867	
	エネルギーセンター		340	
	共通教育棟 (E棟)		1,996	
	弓道場射場		78	
	経済学部演習棟		2,329	
	経済学部講義棟		1,064	
	第2体育館		1,373	
	共通教育棟 (B棟)		1,670	
	事務局		2,538	
	職員会館		573	
	人間発達科学研究実践総合センター		531	
	機械系実験研究棟		2,945	
	材料系実験研究棟		2,653	
	共通研究棟		1,456	
	管理棟Ⅱ		1,152	
	管理棟Ⅰ		1,318	
	実習工場		746	
	第2大学食堂		1,301	
	化学系実験研究棟		4,033	
	共通講義棟		2,605	
	電気系実験研究棟		3,780	
	高電圧実験室		176	
	環境安全推進センター		459	
	第3体育館		1,188	
	研究推進機構産学連携推進センター		2,144	
	国際機構棟		380	
	人文学部校舎		7,663	
	黒田講堂		1,741	
	電子情報実験研究棟		2,237	
化学生物実験研究棟	1,430			
経済学部研究棟	6,288			
大学院実験研究棟	4,354			
総合研究棟	6,483			
学生支援・地域連携交流プラザ	1,477			
サークル棟	1,693			
創造工学センター	204			
自然科学研究支援ユニット極低温量子科学施設	209			
総合情報基盤センターデータセンター棟	990			
総合教育研究棟 (工学系)	6,378			
災害対策プラザ	707			
都市デザイン学部実験実習棟	2,385			
その他	3,788			
	合計	147,058		

区分	棟名称	土地 (m ²)	建物面積 (m ²)	所在地
杉谷キャンパス	講義実習棟	381,182	6,987	富山市杉谷
	解剖棟		945	
	体育館		1,495	
	福利棟		1,438	
	厚生棟		1,085	
	医学部研究棟		18,003	
	附属病院		47,780	
	生命科学先端研究支援ユニット		6,040	
	管理棟		2,439	
	薬学部研究棟		6,098	
	共同利用研究棟		3,364	
	医薬学図書館・保健管理センター		4,075	
	薬用植物園研究棟		402	
	弓道場射場		95	
	看護師宿舎		4,768	
	和漢医薬学総合研究所		3,485	
	職員会館		278	
	武道館		335	
	民族薬物資料館・薬学研究資料館		1,496	
	国際交流会館		1,061	
	看護学科研究棟		7,881	
	医・薬学部研究棟		3,146	
	遺伝子実験施設		1,509	
	NMR装置棟		99	
	保育所		242	
	南病棟		13,250	
	薬学部研究棟II		2,108	
	災害対策プラザ		419	
医薬イノベーションセンター	6,842			
ヘリポート	841			
附属病院外来棟	3,057			
立体駐車場	7,418			
厨房棟(建設中)	1,710			
その他	5,677			
	合計		165,868	
高岡キャンパス	C棟	99,847	3,451	高岡市二上町
	A・B1棟		3,337	
	H棟		3,508	
	D棟		2,336	
	エネルギー棟		721	
	G棟		1,734	
	F棟		1,078	
	洗心苑		428	
	E棟		2,225	
	B2棟		178	
	J棟		386	
	その他		116	
	合計		19,498	
西田地方		11,166	378	富山市花園町
附属学校	附属中学校校舎	39,333	5,015	富山市五艘
	附属中学校体育館		747	
	附属小学校校舎		2,974	
	附属小学校体育館		980	
	附属幼稚園舎		975	
	附属特別支援学校校舎		2,957	
	附属学校共用棟		1,184	
	その他		1,044	
	合計		15,876	
寺町		50,178	9,063	富山市寺町
五福宿舎		7,112	4,056	富山市五福
西田地方宿舎		8,116	5,412	富山市西田地方町
南太閤山宿舎		14,333	8,874	射水市南太閤山
立山施設		借用の為 0	95	中新川郡立山町浄土山頂

五艘地区

(人間発達科学部 附属学校)



- ① 附属幼稚園
- ② 附属小学校
- ③ 附属中学校
- ④ 附属特別支援学校

寺町地区

(国際交流会館、新樹寮)



- ① 国際交流会館
- ② 新樹寮
- ③ 自然観察実習センター

杉谷キャンパス

(医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所、附属病院)



医学部

- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟

薬学部

- U3 薬学部研究棟

和漢医薬学総合研究所

- U4 和漢医薬学総合研究所

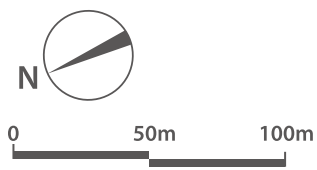
- U5 民族薬物資料館・薬学研究資料館
- U6 共同利用研究棟
- U7 生命科学先端研究支援ユニット
- U8 講義実習棟

- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟
- U12 体育館

- U13 武道館
- U14 災害対策プラザ
- U15 医薬イノベーションセンター

高岡キャンパス

(芸術文化学部)



- | | | |
|---------------|------------------------|----------|
| A A棟 | E E棟 | 多目的グラウンド |
| B1 B1棟 | F F棟 芸術文化図書館 | テニスコート |
| B2 B2棟 | G G棟 体育館 | 洗心苑 |
| C C棟 | H H棟 食堂・生協コンビニ | |
| D D棟 | J J棟 災害対策プラザ | |



五福キャンパス



杉谷キャンパス



高岡キャンパス

位置図

- 東京 から** 羽田空港から(約1時間)
JR東京駅から(約2時間10分)
高速バス(約6時間30分)
- 大阪 から** JR大阪駅から(約3時間10分)
車で名神高速道路-米原JCT-北陸自動車道-富山
高速バス(約5時間40分)
- 名古屋 から** JR名古屋駅から(約3時間)
車で名神高速道路-宮JCT-東海北陸自動車道-富山
高速バス(約3時間40分)
- 北海道 から** 新千歳空港から(約1時間30分)



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180
代表電話: 0766-25-9111

- バス
高岡駅から約20分
JR新高岡駅から約30分
- 市内電車
高岡駅から約20分
「米島口(よねじまぐち)」降車徒歩20分
- タクシー
高岡駅から約15分
JR新高岡駅から約20分
- 車
能越自動車道「高岡北IC」から約10分

杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630
代表電話: 076-434-2281

- バス
富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約30分
- タクシー
富山きときと空港から約25分
富山駅[南口側]から約25分
- 車
北陸自動車道「富山西IC」から約5分
または「富山IC」から約25分

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190
代表電話: 076-445-6011

- バス
富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約20分
- 市内電車
富山駅[南口側]から約15分
- タクシー
富山きときと空港から約20分
富山駅[南口側]から約15分
- 車
北陸自動車道「富山西IC」から約15分
または「富山IC」から約20分



国立大学法人 **富山大学** 概要2020

編集 富山大学総務・広報課

<https://www.u-toyama.ac.jp>



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。